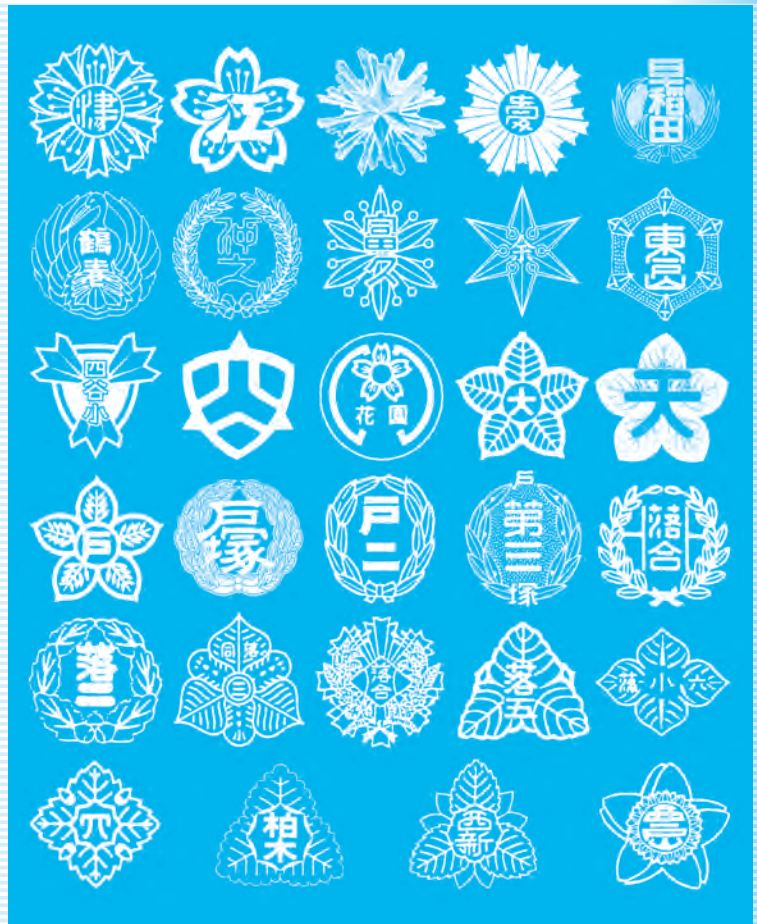


令和7年度
新宿区立小学校

学校案内

—令和8年度入学用—



新宿区教育委員会

❖ 目次

❖ 小学校入学を迎えるお子様の保護者の皆様へ	1
❖ 就学（入学）の流れ	2
❖ 就学（入学）のご案内	4
❖ よくあるご質問にお答えします	8
❖ 小学校一覧	11
❖ 区内小学校 校地面積及び校庭面積	12
❖ 学校教育法第 1 条に規定する学校以外の学校への就学	13
❖ 特別支援教育	15
❖ 学校別案内	18
1 津久戸小学校	18
2 江戸川小学校	20
3 市谷小学校	22
4 愛日小学校	24
5 早稲田小学校	26
6 鶴巻小学校	28
7 牛込仲之小学校	30
8 富久小学校	32
9 余丁町小学校	34
10 東戸山小学校	36
11 四谷小学校	38
12 四谷第六小学校	40
13 花園小学校	42
14 大久保小学校	44
15 天神小学校	46
16 戸山小学校	48
17 戸塚第一小学校	50
18 戸塚第二小学校	52
19 戸塚第三小学校	54
20 落合第一小学校	56
21 落合第二小学校	58
22 落合第三小学校	60
23 落合第四小学校	62
24 落合第五小学校	64
25 落合第六小学校	66
26 淀橋第四小学校	68
27 柏木小学校	70
28 西新宿小学校	72
29 西戸山小学校	74
❖ 小学校通学区域図	76
❖ 小学校通学区域町名一覧	78

小学校入学を迎えるお子様の保護者の皆様へ

新宿区教育委員会
教育長 針谷 弘志

お子様の来年度の小学校への入学にあたり、これまでの健やかなご成長を心よりお祝い申し上げます。

近年、子どもたちを取り巻く教育環境は大きく、そして目まぐるしく変化しています。今後も、災害や気候変動などの地球規模の環境問題、さらなる情報化やグローバル化、人工知能（ＡＩ）の急速な進化など社会や生活を大きく変化させることが予測されます。こうした複雑で予測困難な時代だからこそ、子どもたちには変化を前向きに受け止め、社会や人生を、個々の感性を働かせて、より豊かなものにしていくことが期待されています。

新宿区教育委員会では、子どもたちが生涯を切り拓いていく力を一層伸ばしていくため、10年後の子どもたちの育ち・学びを見据えた「新宿区教育ビジョン」を平成30年2月に策定し、これに基づき、多岐にわたる教育活動に取り組んでいます。

主な取組では、新時代の学びを支え、子どもたちが主体的に学ぶことができる「新宿区版GIGAスクール構想」を推進しています。

一人1台貸与されているタブレット端末のさらなる活用を図り、ＡＩ機能をもつデジタルドリルを活用した個別最適な学びや、個々の考えを広げたり共有したりすることができる協働学習支援ツールを活用した協働的な学びを進めていきます。

また、グローバルな視点から「持続可能な開発目標（SDGs）」の達成に向け、あらゆる教育・学習機会をとらえて、「持続可能な社会の創り手」の育成を目指します。

さらに、近年の猛暑を鑑み、熱中症対策の一環として各学校に給水スタンドを設置することにより、児童・生徒の健康を保持し、安全かつ安心に学校生活を送ることができるよう教育環境の向上を図っています。また、令和7年度からは社会福祉士等の専門的知識を持つスクールソーシャルワーカーを3名から5名に増員し、学校への年5回の定期訪問、及び学校の要望に応じた随時訪問を通して、関係機関等とのネットワーク構築等をより一層強化することで、学校生活における不安や悩みを抱える児童・生徒や保護者からの相談体制を充実しています。

こうした取組のほか、各学校では特色を生かした多様な教育活動を展開しています。

詳しくは、本案内冊子や各学校のホームページをご参照ください。

教育は一生の財産です。一度、身についた知識や経験はどんなことがあっても、誰にも奪われることはありません。

子どもたちの確かな学びを保証し、生きる力を育むために、子どもたちの探求心や創造力、失敗を恐れずに挑戦する気持ちを育てていきたいと思います。

来年の4月に、お子様が新1年生となり元気に楽しく学校生活を送られることを願っています。

令和7年8月

【就学(入学)の流れ】

通学区域の学校を希望

手続き不要

10月下旬まで

就学時健康診断

基準該当
【許可】

12月上旬

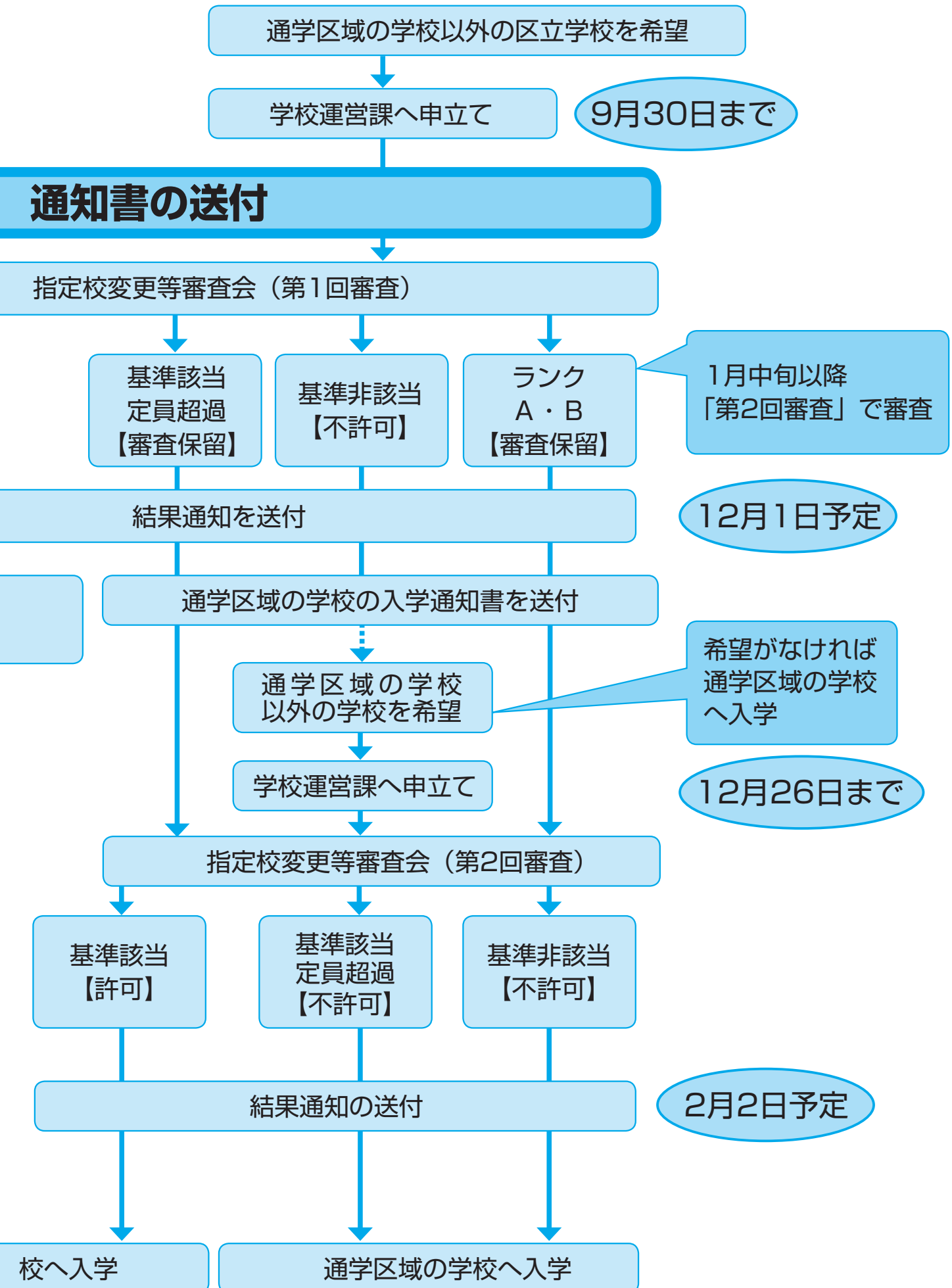
通学区域の学校の 入学通知書を送付

申立てした学校の
入学通知書を送付

4月

通学区域の学校へ入学

申立てした学



就学（入学）のご案内

■就学（入学）する学校について

お子様の就学（入学）する学校は、住民基本台帳の住所により、教育委員会が指定しています（指定校）。原則として、住所により定められた通学区域の学校である指定校に就学（入学）となります。

■就学（入学）にあたっての注意事項

- 自転車・自家用車等での通学は出来ません。
- 通学・在校時に携帯電話等、学習に関係ない不要物や不要な金銭を所持することはできません。
- 各学校によって、生活指導上の注意事項があります。
- 東日本大震災の経験から、学校で震度5弱以上の地震が発生した場合は、学校に児童を留め置くため、保護者の方にお迎えをお願いします。

■学校情報の提供

- 学校公開及び学校説明会を各小学校で開催する予定です。公開期間中は、実際の教育現場を直接ご覧いただけます。公開日等詳細は、各小学校へお問い合わせください。
 - 本冊子や各小学校のホームページもご覧ください。
- ※本冊子の学校別案内に記載の「学級数・児童数」は、令和7年5月1日現在の数値です。
- ※各小学校の詳しい状況は、直接学校にお問い合わせください。

■就学時健診について

就学時健康診断通知書は10月下旬までに発送する予定です。詳細については、新宿区ホームページ（以下の二次元コード）をご確認ください。



▲「就学時健診」

■学級編制について

区立小学校の学級は、令和8年度には35人学級で編制する予定です。ただし、児童数、学校施設の状況、教育上の配慮等を踏まえて、36人以上の学級編制を行う場合があります。

■指定校変更制度について

指定校を変更せざるを得ない特別な事情がある場合、保護者の方は「指定校変更の申立て」を行うことができます。申立てを行う場合は、本冊子とあわせて送付しております「令和8年度小学校新1年生・保護者の方へ 指定校変更制度について（概要）」をご覧ください。なお、申立てをいただいた理由を踏まえ、審査を行った結果、指定校変更の申立てが不許可となる場合があります。（本審査は、個人情報扱うこととなるため、非公開です。また、1件ずつ事情を踏まえて審査するため、決定に時間がかかります。）

■通学区域の変更について

四谷地区における区立小学校の教育環境の維持向上を図るため、令和7年4月1日から以下のとおり通学区域を変更しています。

○対象地域

以下の地域を四谷小学校から花園小学校の通学区域に変更します。

・四谷四丁目（2番地、3番地及び8番地から34番地） ・富久町（8番及び9番）

○実施時期

令和7年4月1日

○対象児童

令和7年4月1日以降に入学（転入学及び編入学を含む。）する児童

○経過措置

対象地域に居住する児童は、希望により四谷小学校を指定校として選択することができます。四谷小学校への入学を希望する方は、指定校変更の申立てが必要になります。

申立てを行う場合は、本冊子とあわせて送付しております「令和8年度小学校新1年生・保護者の方へ 指定校変更制度について（概要）」をご覧ください。

☞四谷小学校について 38ページ

☞花園小学校について 42ページ

※通学区域の見直しについての詳細は、新宿区ホームページ（以下の二次元コード）にてご覧いただけます。



▲「通学区域の見直し」



▲「学区域一覧」

■新宿区内で転居した場合について

新宿区内で転居した場合、転居届を提出した時点で、指定校は新しい住所地の通学区域の学校です。入学後、転居した場合も同様です。

- 通学区域の学校に就学（入学）する場合
手続きは不要です。
- 通学区域以外の区立学校に就学（入学）を希望する場合
詳しくは、P5をご覧ください。

■新宿区に転入した場合について

新宿区に転入した場合、転入届を提出した時点で、指定校は住所地の通学区域の学校です。

- 通学区域の学校に就学（入学）する場合
手続きは不要です。
- 通学区域以外の区立学校に就学（入学）を希望する場合
詳しくは、P5をご覧ください。

重要

※ 国私立等小学校に就学（入学）するため、新宿区立小学校に就学（入学）しない方は、新宿区教育委員会におけるお子様の就学先の確認や円滑な学級編制のために、速やかなお手続きをお願いいたします。詳しくは、P7をご覧ください。

■その他のご案内

(1) 就学（入学）後の費用負担について

- ① 公立小学校は、入学金、授業料、教科書代、給食費などは無料です。
- ② 保護者の方の負担となるのは、学用品、校外学習や移動教室の費用などですが、お支払いが困難なご家庭には、所得基準によりこれらの経費の一部を補助する制度（就学援助）があります。新宿区立小学校に通学している児童の保護者の方には、学校を通じて「新宿区就学援助のお知らせ」を配布します。
- ③ 国私立等の新宿区立小学校以外に就学（入学）を予定している児童の保護者の方は、教育委員会事務局学校運営課 学事係までご相談ください。

(2) 特別支援教育について

特別支援学級への入級等を検討している方は、教育委員会事務局 教育支援課 特別支援教育係までご相談ください。詳しくは、P15からP17をご覧ください。

(3) 新宿区立小学校以外の学校への就学（入学）について

- ① 国私立等小学校（学校教育法第1条に規定する学校）への就学（入学）が決定した方

就学（入学）が決まった学校の「入学許可証」又は「入学承諾書」を受け取り次第、お近くの特別出張所又は教育委員会事務局 学校運営課 学事係までご持参のうえ、窓口で「区域外就学届書」の記入及び提出をしてください。

なお、国私立等入学の届出は下記二次元コードより電子申請でも行うことができます。



▲国私立等入学の届出

- ② 学校教育法第1条に規定する学校以外の学校（インターナショナルスクール等）への就学（入学）が決定した方

詳しくは、P13からP14をご覧ください。

■問合せ先

新宿区教育委員会事務局 学校運営課 学事係

電話 03-5273-3089 FAX 03-5273-3580

新宿区ホームページ <https://www.city.shinjuku.lg.jp/>



▲新宿区ホームページ

よくあるご質問にお答えします

学区制度について

Q：通学区域制度とは、何ですか？

A：新宿区では、「新宿区立学校通学区域に関する規則」により、お住まいの住所ごとに各学校の通学区域を定め、これに基づいて義務教育の年齢のお子様の就学すべき学校を指定しており、これを通学区域制度と呼んでいます。

Q：通学区域以外の区立学校に入学する方法はありますか？

A：区立学校は住所により通学区域が定められており、お子様の就学（入学）する学校は、住民基本台帳の住所により、教育委員会が指定しています（指定校）。その指定校を変更せざるを得ない特別な事情がある場合、保護者の方は「指定校変更の申立て」を行うことができます。「指定校変更の申立て」を行う事情がある場合は、本冊子とあわせて送付しております「令和8年度小学校新1年生・保護者の方へ 指定校変更制度について（概要）」をご覧くださいの上、手続きを行ってください。※外国籍の方は、はじめに「外国籍就学申請書」をご提出ください。

Q：「指定校変更申立書」を提出したのですが、事情が変わり通学区域の学校に入学したいと考えています。「指定校変更申立」を取り下げることができますか？

A：お手元に審査結果通知が届く前でしたら、取り下げることができます。教育委員会事務局 学校運営課 学事係の窓口で、取下書をご記入ください。

就学先と手続きについて

Q：通学区域の小学校に就学（入学）するつもりです。何か手続きが必要ですか？

A：手続きは不要です。12月中旬に通学区域の学校が記載された「入学通知書」をお送りしますので、入学式当日、就学（入学）する学校へお持ちください。

Q：新宿区立学校以外の学校（国私立等小学校）への就学（入学）が決まりました。何か手続きが必要ですか？

A：就学（入学）が決まった学校の「入学許可証」又は「入学承諾書」を受け取り次第、お近くの特別出張所又は教育委員会事務局 学校運営課 学事係までご持参のうえ、窓口にあります「区域外就学届書」の記入及び提出をしてください。なお、「国私立等入学の届出」は下記二次元コードより電子申請でも行うことができます。

国私立等入学の届出▶



Q：新宿区以外の自治体の公立学校に就学（入学）を希望しています。何か手続きが必要ですか？

A：新宿区以外の自治体の公立学校に就学（入学）を希望する場合、希望する学校がある自治体の教育委員会に相談してください。

Q：事情により、住民登録地ではない住所に住んでいます。就学（入学）するにあたり、何か手続きが必要ですか？

A：実際に住んでいる住所地の通学区域の学校が指定校となります。その場所に居住の実態があることが証明できるもの（住居の賃貸借契約書、公営住宅入居証明書、公共料金領収書、居所同意書等）及び本人・保護者の方の氏名等が確認できるもの（住民票、健康保険証、マイナンバーカード等）をご持参の上、教育委員会事務局 学校運営課 学事係へご相談ください。

Q：海外の学校に就学（入学）を予定しています。何か手続きが必要ですか？

A：新宿区で国外転出の届出をされた方は教育委員会事務局 学校運営課 学事係での手続きは「不要」です。一方、留学等やむを得ない事情で新宿区内に住民登録を残したまま海外で就学する場合、渡航するお子様のパスポートをご持参の上、教育委員会事務局 学校運営課 学事係の窓口にあります「不就学申出書」の記入及び提出をお願いします。なお、「不就学申出」の手続きは下記二次元コードより電子申請でも行うことができます。
※外国籍のお子様は届出不要です。



▲不就学申出

Q：外国籍のみを持つ子どもが、新宿区立学校への就学（入学）を希望する場合、何か手続きが必要ですか？

A：日本国籍を持つお子様は、小・中学校への就学に際し、義務教育の仕組みの中で取り扱われますが、外国籍のみを持つお子様は、就学（入学）にあたっては、受入れのための手続きとして外国籍就学申請が必要となります。本冊子とあわせて送付しておりますお知らせをご覧くださいの上、手続きを行ってください。

Q：学校教育法第1条に規定する学校以外の学校（インターナショナルスクール等）への就学（入学）を予定しています。何か問題がありますか？

A：日本国籍のみをお持ちの方は、「就学義務違反」となりますので、すぐに学校教育法第1条に規定する学校に就学（入学）してください。

日本国籍と外国籍を両方をお持ちの方は、学校教育法第1条に規定する学校以外の学校への就学（入学）が決まりましたら、日本国籍と外国籍の両方を証明する書類（パスポート、出生証明等）及び就学（入学）が決まった学校を証明できる書類（在学証明書等）をご持参の上、教育委員会事務局 学校運営課 学事係の窓口にあります「就学猶予（免除）願」の記入及び提出をしてください。なお、「就学猶予（免除）」の手続きは下記二次元コードより電子申請でも行うことができます。詳しくは、P13からP14をご覧ください。



就学猶予▶
（免除）

学校説明会について

Q：入学式の日時や新1年生保護者会についての案内は、いつ届きますか？

A：12月中旬にお送りする「入学通知書」とあわせて、ご案内します。

特別支援学級について

Q：特別支援学級への入級等を考えています。何か手続きが必要ですか？

A：教育委員会事務局 教育支援課 特別支援教育係までご相談ください。詳しくは、P15からP17をご覧ください。

転居・転入の際について

Q：新宿区に転入しました。何か手続きが必要ですか？

A：新宿区に転入した場合、転入届を提出した時点で、住所地の通学区域の学校が指定校となります。詳しくは、P6をご覧ください。

Q：新宿区内で転居しました。何か手続きが必要ですか？

A：新宿区内で転居した場合、転居届を提出した時点で、新しい住所地の通学区域の学校が指定校となります。就学（入学）後も同様です。詳しくは、P6をご覧ください。

【小学校一覧】

※ 下記ホームページアドレスで各校のホームページにアクセスできます。

学 校 名	所在地／電話	ホームページアドレス
津 久 戸	津久戸町2-2 ☎03-3266-1601	https://www.shinjuku.ed.jp/es-tsukudo/index.html
江 戸 川	水道町1-28 ☎03-3266-1602	https://www.shinjuku.ed.jp/es-edogawa/index.html
市 谷	市谷山伏町1-3 ☎03-3266-1603	https://www.shinjuku.ed.jp/es-ichigaya/index.html
愛 日	北町26 ☎03-3266-1604	https://www.shinjuku.ed.jp/es-aijitsu/index.html
早 稲 田	早稲田南町25 ☎03-3205-9501	https://www.shinjuku.ed.jp/es-waseda/index.html
鶴 巻	早稲田鶴巻町140 ☎03-3205-9502	https://www.shinjuku.ed.jp/es-tsurumaki/index.html
牛 込 仲 之	市谷仲之町4-33 ☎03-3358-3762	https://www.shinjuku.ed.jp/es-ushigomenakano/index.html
富 久	富久町7-24 ☎03-3358-3763	https://www.shinjuku.ed.jp/es-tomihisa/index.html
余 丁 町	若松町13-1 ☎03-3205-9503	https://www.shinjuku.ed.jp/es-yochomachi/index.html
東 戸 山	戸山2-34-2 ☎03-3205-9504	https://www.shinjuku.ed.jp/es-higashitoyama/index.html
四 谷	四谷2-6 ☎03-5369-3776	https://www.shinjuku.ed.jp/es-yotsuya/index.html
四 谷 第 六	大京町30 ☎03-3358-3767	https://www.shinjuku.ed.jp/es-yotsuya6/index.html
花 園	新宿1-22-1 ☎03-3353-8276	https://www.shinjuku.ed.jp/es-hanazono/index.html
大 久 保	大久保1-1-21 ☎03-3205-9506	https://www.shinjuku.ed.jp/es-okubo/index.html
天 神	新宿6-14-2 ☎03-3358-3769	https://www.shinjuku.ed.jp/es-tenjin/index.html
戸 山	百人町2-1-38 ☎03-3205-9507	https://www.shinjuku.ed.jp/es-toyama/index.html
戸 塚 第 一	西早稲田3-10-12 ☎03-3205-9508	https://www.shinjuku.ed.jp/es-totsuka1/index.html
戸 塚 第 二	高田馬場1-25-21 ☎03-3205-9509	https://www.shinjuku.ed.jp/es-totsuka2/index.html
戸 塚 第 三	高田馬場3-18-21 ☎03-3227-2101	https://www.shinjuku.ed.jp/es-totsuka3/index.html
落 合 第 一	中落合2-13-27 ☎03-3565-0940	https://www.shinjuku.ed.jp/es-ochiai1/index.html
落 合 第 二	上落合2-10-23 ☎03-3227-2102	https://www.shinjuku.ed.jp/es-ochiai2/index.html
落 合 第 三	西落合1-12-20 ☎03-3565-0941	https://www.shinjuku.ed.jp/es-ochiai3/index.html
落 合 第 四	下落合2-9-34 ☎03-3565-0942	https://www.shinjuku.ed.jp/es-ochiai4/index.html
落 合 第 五	上落合3-1-6 ☎03-3227-2103	https://www.shinjuku.ed.jp/es-ochiai5/index.html
落 合 第 六	西落合4-11-21 ☎03-3565-0943	https://www.shinjuku.ed.jp/es-ochiai6/index.html
淀 橋 第 四	北新宿3-17-1 ☎03-3227-2105	https://www.shinjuku.ed.jp/es-yodobashi4/index.html
柏 木	北新宿2-11-1 ☎03-3227-2104	https://www.shinjuku.ed.jp/es-kashiwagi/index.html
西 新 宿	西新宿4-35-5 ☎03-3373-6031	https://www.shinjuku.ed.jp/es-nishishinjuku/index.html
西 戸 山	百人町4-2-1 ☎03-3227-2107	https://www.shinjuku.ed.jp/es-nishitoyama/index.html

区内小学校 校地面積及び校庭面積

小学校	校地面積 (㎡)	校庭面積 (㎡)
津久戸	4,740	1,313
江戸川	4,534	1,958
市谷	6,050	2,979
愛日	4,533	1,008
早稲田	8,401	2,455
鶴巻	5,417	1,964
牛込仲之	5,184	2,041
富久	4,607	1,808
余丁町	7,059	2,276
東戸山	14,890	8,388
四谷	7,002	2,135
四谷第六	5,516	1,916
花園	4,154	1,432
大久保	7,204	2,464
天神	7,425	2,831
戸山	6,908	2,438
戸塚第一	6,577	2,593
戸塚第二	6,169	2,336
戸塚第三	6,055	2,709
落合第一	8,257	2,217
落合第二	8,419	2,691
落合第三	6,028	2,207
落合第四	8,471	2,234
落合第五	6,864	1,872
落合第六	6,298	2,988
淀橋第四	6,697	2,354
柏木	6,670	2,464
西新宿	14,159	5,129
西戸山	8,136	1,767

学校教育法第1条に規定する学校以外の学校 (インターナショナルスクール等) への就学をお考えの方へ

お子様の国籍によって、手続きが異なりますが、
次の1 から3 の全ての方にご注意いただきたい点があります。

注意！ 原則として、インターナショナルスクール等の小学部(同法第1条に規定する学校以外)を卒業されても、直ちに区立中学校等への就学(入学)は認められません。小学校卒業後のお子様の進路等についても、十分にお考えいただいたうえで、ご判断ください。

1 日本国籍のみをお持ちの方

⇒就学義務違反です。すぐに学校教育法第1条に規定する学校に就学(入学)してください。

〔 インターナショナルスクールには、学校教育法第1条に規定する学校として認定を受けている学校もあります。それぞれのインターナショナルスクールにご確認ください。 〕

学校教育法第17条

- 1 保護者は、子の満6歳に達した日の翌日以後における最初の学年の初めから、満12歳に達した日の属する学年の終わりまで、これを小学校の課程、義務教育学校の前期課程又は特別支援学校の小学部に就学させる義務を負う。ただし、子が、満12歳に達した日の属する学年の終わりまでに小学校、義務教育学校前期課程又は特別支援学校の小学部の課程を修了しないときは、満15歳に達した日の属する学年の終わり(それまでの間においてこれらの課程を修了したときは、その修了した日の属する学年の終わり)までとする。
- 2 保護者は、子が小学校の課程、義務教育学校の前期課程又は特別支援学校の小学部の課程を修了した日の翌日以後における最初の学年の初めから、満15歳に達した日の属する学年の終わりまで、これを中学校、義務教育学校の後期課程、中等教育学校の前期課程又は特別支援学校の中学部に就学させる義務を負う。

学校教育法第144条

第17条第1項又は第2項の義務の履行の督促を受け、なお履行しない者は、10万円以下の罰金に処する。

2 日本国籍と外国籍を両方お持ちの方

⇒就学義務の猶予(免除)の手続きが必要です。

学校教育法第1条に規定する学校以外の学校への就学(入学)が決まりましたら、日本国籍と外国籍の両方を証明する書類(パスポート、出生証明等)及び就学(入学)が決まった学校を証明できる書類(在学証明等)をご持参の上、新宿区教育委員会事務局 学校運営課 学事係の窓口にあります「就学猶予(免除)願」の記入及び提出をしてください。なお、「就学猶予(免除)願」の手続きは下記二次元コードより電子申請でも行うことができます。

就学猶予▶
(免除)



3 外国籍のみをお持ちの方へ

お子さんがこれから通う学校を確認するためのアンケートをお送りします。ので、回答をしてください。

まだ決まっていない方も、通う学校が決まったら、新宿区教育委員会事務局 学校運営課 学事係 にお知らせください。

これはすべての子どもに学習の機会が与えられているかを確かめる大切なものです。

外国籍の方も 区立の学校に通うことができます

区立学校に通いたいときは、

①区立学校に通いたいお子さんと、保護者（父、母、20歳以上の家族）の「在留カード」や「特別永住者証明書」の写し（コピー）と、

②「外国籍就学申請書」

を 新宿区 教育委員会事務局 学校運営課 学事係 に 提出してください。

教育委員会事務局 学校運営課 学事係 ☎03-5273-3089

4 その他のご案内

①日本の小学校（学校教育法第1条に規定する小学校）を卒業していないと、原則として、日本の中学校（学校教育法第1条に規定する中学校）には就学（入学）できませんのでご注意ください。

②卒業の認定は、学校長が各児童・生徒の日頃の成績を評価して行っていますので、卒業資格取得のみを目的とした区立学校への短期の就学（入学）はできません。

参考）※中学校卒業程度認定試験とは、学校教育法第18条の規定により、病気などやむを得ない事由によって保護者が義務教育諸学校に就学させる義務を猶予又は免除された子等に対して、中学校卒業程度の学力があるかどうかを認定するために国が行う試験であり、合格した者には高等学校の入学資格が与えられます。（文部科学省ホームページ「令和7年度就学義務猶予免除者等の中学校卒業程度認定試験案内」のページより抜粋）

※受験資格の有無等については、保護者様自身で必ずご確認ください。

文部科学省ホームページ▶



特別支援教育を推進しています

～すべての子どもがいきいきと学び、共に生きる学校・社会を目指して～

子どもたちの成長とその歩みは一人ひとり違います。

新宿区では、一人ひとりの能力や可能性を最大限に伸ばし、すべての子どもがいきいきと学ぶ教育環境の実現を目指して、特別支援教育の推進に取り組んでいます。

～一人ひとりにきめ細かな支援を行うための7つの取組～

1 特別支援教育推進員の配置による支援を実施しています

通常の学級に在籍し、発達障害等があるため支援を必要としている児童に対して、特別支援教育推進員を配置し、適切な教育的支援を行う等、学校内支援体制の充実を図っています。

2 専門家による巡回相談を実施しています

学識経験者、心理職等の専門家による巡回相談を実施し、教員に対し、学習環境や指導方法等についての助言を行っています。

3 学校内に「校内委員会」を設置し、「特別支援教育コーディネーター」を指名しています

児童の実態を把握し、支援の計画立案等を行うため、学校内に「校内委員会」を設置しています。また、校内委員会と外部関係機関との連絡調整や保護者に対する相談窓口の担い手として、学校は「特別支援教育コーディネーター」を指名し、支援の計画作りやスクールカウンセラーを含めた、全教職員の共通理解を図るための研修等を実施しています。

4 教員の専門性と資質の向上を図っています

新宿区では、障害の状況に応じた教育や指導の専門性を高めるために、特別支援教育の研修会等を実施しています。

5 特別支援学校と連携しています

特別支援学校や区立新宿養護学校に在籍する児童については、居住する地域の区立学校に副籍を置き、希望する場合、共同学習や学校便りの交換等の交流を行っています。また、教員相互の交流や研修会等を進め、指導等に生かしています。

6 児童及び保護者・区民への理解啓発を行っています

各学校では、人権教育の場を通じて、障害の有無にかかわらず、児童が互いを認め合い、支えあう心を育てています。そのほか教育委員会事務局では、リーフレットや広報紙、ホームページ等を活用して、特別支援教育についての理解啓発に努めています。

7 特別支援教育推進委員会を開催しています

支援策の進捗状況や課題の把握等を行うため、学校関係者や関係団体代表者等を構成員とする「特別支援教育推進委員会」を開催し、特別支援教育の充実に努めています。

～新宿区立のすべての小学校に 「まなびの教室」（特別支援教室）を設置しています～

新宿区では、通常の学級で学ぶ、知的発達に遅れのない発達障害等の児童への支援充実のため、新宿区立のすべての小学校に「まなびの教室」（特別支援教室）を設置しています。

「まなびの教室」は拠点校の教員が児童の在籍する学校を巡回して指導を行う「巡回指導方式」です。

児童は、在籍する学校にある「まなびの教室」で指導を受けることができるため、巡回指導教員と在籍学級担任との緊密な連携により、在籍学級での適応状態、生活や課題に応じたきめこまかな指導を受けることができます。

拠点校及び巡回校 ※「まなびの教室」については、令和8年4月に拠点校及び巡回校を下記のとおり再編します。

拠点校	巡回校	拠点校	巡回校
市谷小学校	津久戸小学校 江戸川小学校 愛日小学校	戸山小学校	大久保小学校 淀橋第四小学校 柏木小学校 西戸山小学校
富久小学校	牛込仲之小学校 余丁町小学校 東戸山小学校 天神小学校	戸塚第二小学校	早稲田小学校 鶴巻小学校 戸塚第一小学校
四谷第六小学校	四谷小学校 花園小学校	落合第一小学校	戸塚第三小学校 落合第二小学校 落合第四小学校
		落合第三小学校	落合第五小学校 落合第六小学校 西新宿小学校

特別支援学級・特別支援学校

新宿区では教育上特別な支援を必要とする子どもたちの可能性を最大限に伸ばすため、特別支援学級・特別支援学校等を設置し、一人ひとりの心身の状態や発達段階、特性等に応じたきめこまかな指導を行っています。また、学級・学校の他に、難聴や言語障害の幼児・児童・生徒のための「ことばの教室」（東戸山小学校内設置）があります。

新宿区内の特別支援学級・特別支援学校は下記のとおりです。

学級・学校一覧

種別	学校名	学級名	教育の特色
知的障害	愛日小学校 ☎03-3266-1604(代)	若竹学級	1学級8名を基準とした少人数の学級編制で指導を行っています。また、一人ひとりについて具体的な指導目標、指導内容を設定し、指導の形態等を考慮して、効果的な教育が行われるようにしています。通常の学級との交流や共同学習も行っています。 小学校では、社会生活に必要なことばの理解や表現、数量の処理を、具体的な体験を通して学習しています。また、日常生活の指導では、1日の生活に見通しをもって、自力でやりとげていくことを目指していきます。
	東戸山小学校 ☎03-3205-9504(代)	若草学級	
	花園小学校 ☎03-3353-8276(代)	新苑学級	
	落合第二小学校 ☎03-3227-2102(代)	若葉学級	
	柏木小学校 ☎03-3227-2104(代)	柏葉学級	
病弱	余丁町小学校 ☎03-3205-9503(代)	わかまつ学級	東京女子医科大学病院に長期入院している児童が、治療を続けながら通うことのできる、病院内に設けられた学級です。
肢体不自由	新宿養護学校 ☎03-5351-1233(代)		生活年齢や発達課題・特性等に応じたグループを編成し、一人ひとりの障害の程度や課題に応じた自立活動と教科の指導を受けます。通学にはスクールバスがあります。 体力的な理由や病気治療により、学校に通学することが難しい児童のために、自宅や病院へ教員が出向いて授業を行う、訪問学級もあります。
難聴 言語障害	ことばの教室（東戸山小学校内） ☎03-3204-5533(直)		通常の学級の学習を終えた放課後、個別に指導を受けます。幼児及び小・中学生が対象です。

※都立特別支援学校の入転学についてもお相談を受けています。

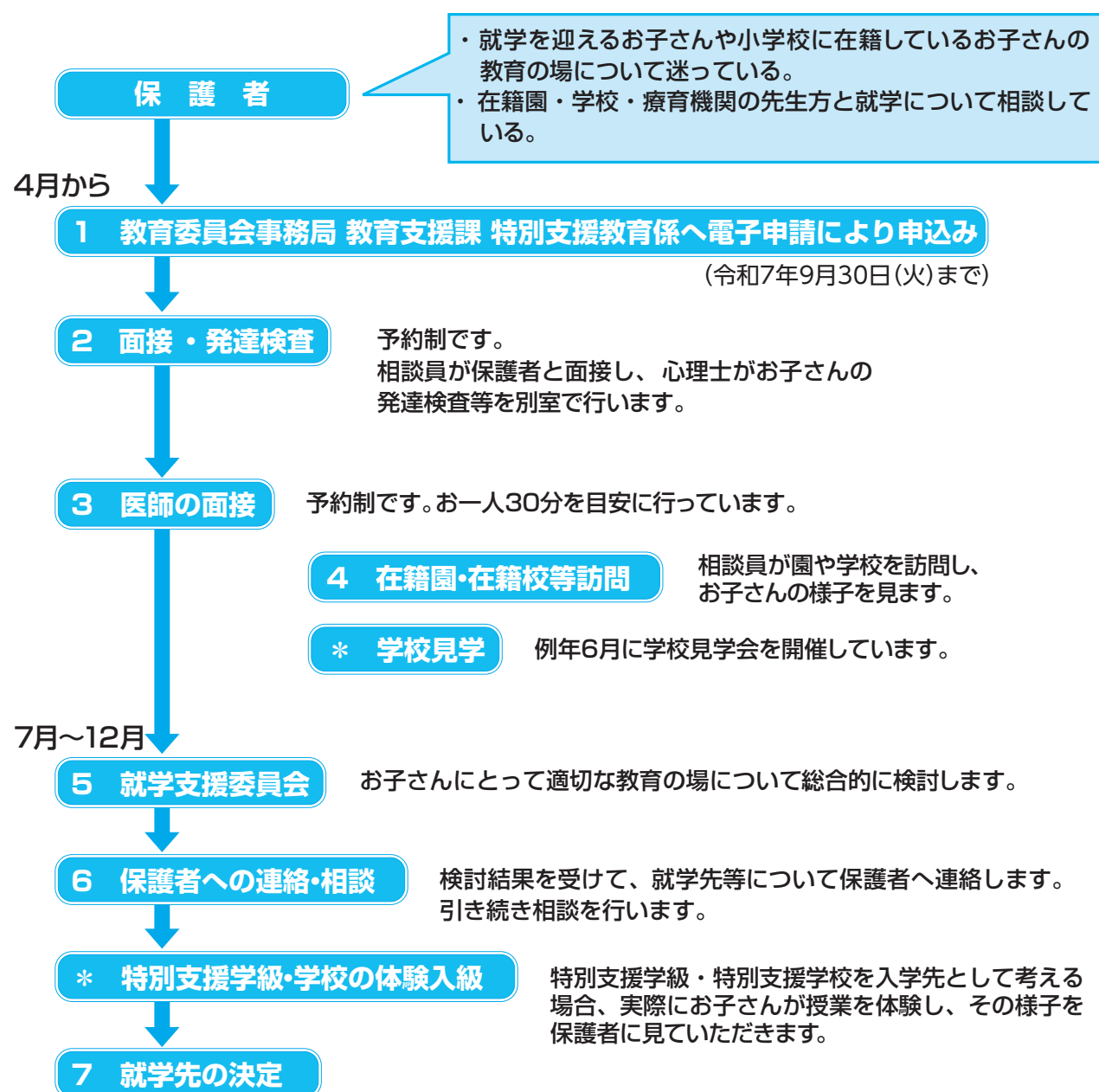
就学相談

新宿区では、お子さんの心身の状態や発達段階、障害の特性等に応じて適切な教育を受けられるようにするため、就学相談を行っています。

この相談では、相談員が窓口になって保護者や本人の意向を十分にお聞きしながら、心理学的、医学的、教育的な観点から、お子さんにとってより適切な教育環境や教育内容等について一緒に考えていきます。

特別支援学級や特別支援学校への入学及びまなびの教室の利用を検討している場合、またお子さんの学校生活や入学にあたって気になることがありましたら、ご相談ください。

就学相談の流れ



問い合わせ先
教育支援課 特別支援教育係
TEL 03-3232-3074



津久戸小学校



▲学校ホームページ



所在地／新宿区津久戸町2-2

電話／03-3266-1601

FAX／03-3266-8074

交通／JR総武線 飯田橋駅東口下車 徒歩5分

地下鉄 有楽町線・東西線・南北線 飯田橋駅下車B1出口より 徒歩3分

地下鉄 大江戸線 飯田橋駅下車 C1出口より 徒歩1分

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	総計
学級数	2	2	2	2	2	2	12
児童数(計)	53	40	51	45	49	64	302
児童数(男)	32	15	26	25	31	33	162
児童数(女)	21	25	25	20	18	31	140

■教育目標と指導の重点

「教育目標」

人間尊重の精神を根幹とし、国際社会において信頼され、主体的で人間性豊かな児童を育成するため、次の目標を定める。

『知性と教養にあふれ、

たくましく前向きに生きる津久戸の子』

【知性と教養】

ただ単に、知識や技能を知性・教養ととらえるのではなく、人としての「やさしさ」「強さ」「厚み」「深さ」等の基礎を学習や生活の中で身に付ける。

【たくましく前向きに生きる】

測定ができる体力や、運動の技能のみを体力ととらず、健康に明るく前向きに生きるための基礎を身に付ける。

■児童会の活動

児童相互のかかわりを大切にしながら、異年齢の集団活動を通して、受け容れ、認め高め合える人間関係を育むことを目的に活動しています。

学校生活をよりよくするために、高学年の児童が中心となる活動で自主的・実践的な態度を養っています。昭和24年から、青少年赤十字活動を継続しており、昭和26年5月14日に昭和天皇陛下が学校にお出ましくされました。現在も地域の清掃活動を行っています。

【奉仕的な活動】 ★ユニセフ募金活動

★熊谷組との地域清掃・校内清掃の充実

【自主的な活動】 ★交流を深め、広げる集会活動の計画・実践

★全校児童がチャイムなしで行動

★挨拶推進運動

■総合的な学習の時間

～津久戸の地域に育つわたしたち～

○津久戸のまちの「ひと」「もの」「こと」から学び、各教科との系統性と関連性を明らかにしながら、横断的・総合的な学習を展開し、地域で輝く子どもを育てる。

○商店会、地域協働学校運営協議会、スクールコーディネーター、関係機関と連携し、地域の教育資源を開発し、地域のよさや伝統等を学んでいく。

【令和7年度の主な学習構想】

3年「地域の安全を見直そう」

安全な場所と危険な場所を意識しながら自分たちが生活している町をフィールドワークする。そこで得た情報から安全マップを作製し、発表することを通して、地域に対する理解を深め、新たに見付けた課題について自分たちで何ができるかを考える。

4年「津久戸版 内藤とうがらしプロジェクト」

新宿区の伝統野菜の存在を知り、それを復活させようと努力している人々との出会いから、その思いや願いに触れ、自分たちの生活や暮らしをよりよくするための方法を考えて発信する。

5年「津久戸からSDGsを」

SDGsの17の目標を知り、興味関心をもった項目について詳しく調べる。地域のSDGsに取り組む企業との連携を通して、様々な社会の課題とSDGsとのつながりを知り、持続可能な世界を築くために自分たちができることを提言して実践する。

6年「津久戸のまちを見直そう」

自分たちの町をフィールドワークし、気付いたよさや問題点を解決するための方策を考え、持続可能な社会やまちづくりの一員としての願いや行動を提言し実践する。

学びに向かう力、人間性を涵養する学校

主体的・対話的で 深い学び

- 「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実させた学び
- 児童の学ぶことへの興味・関心を大切にした「主体的・対話的で深い学び」
- 見通しをもって粘り強く取り組み、自己の学習活動を振り返って次につなげる。
- 中・高学年での教科担任制

地域とともに育む 豊かな心

- 地域協働学校としての特色を生かした活動
- 開校 121 周年を迎え、地域の文化拠点となる教育
- 地域の人材を活用し、地域から学ぶ学習活動（商店街、神楽坂阿波踊り、熊谷組、東京理科大、JCHO）
- 地域と共に進める防災教育

学習指導の専門家 としての教職員

- 個と集団をともに高める指導力
- 「楽しい授業」をデザインし、主体的に学ぶ児童の育成
- 主幹教諭・主任教諭を中心としたOJTの推進、ミドルリーダー、若手教員の育成
- 幼・保・小、小・中の連携教育・かけ橋教育の推進

地域協働の推進

地域協働学校運営協議会

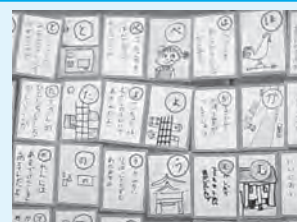
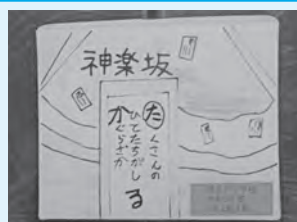
登校時の見守り・防災キャンプ
生活科等学習支援・読書の日ワークショップ
など

学 校

- ① 伝統が残る地域の学習材を活用した単元の開発
- ② 地域人材（本校卒業生・熊谷組・JCHO・神楽坂商店街など）を活用し、地域で育ち、地域で輝く子どもの育成

健康教育・伝統文化理解の推進

- 食育や保健指導の充実
- がん教育の実践
- 車いすバスケット・デフリンピック競技の体験等と関連付けた障害者理解教育
- 地域と連携した伝統文化授業の推進



学校図書館教育の充実

- 読み物を豊富に揃えた調べ学習等の充実
- 「調べる学習室」を活用し、読書センター、学習・情報センターの機能を生かす活動の充実
- 支援員、ボランティア等による読み聞かせ・ブックトーク

特別支援教育の推進

- まなびの教室（特別支援教室）と連携した支援の充実、教育的ニーズに応じた適切な教育支援
- 都・区派遣のスクールカウンセラーとの連携 「相談室だより」の発行、児童、保護者との面談
- 特別支援教育推進員、エデュケーションスタッフ、教育ボランティア、などを活用した授業支援



▲学校ホームページ



所在地／新宿区水道町1-28

電話／03-3266-1602

FAX／03-3266-8076

交通／東京メトロ有楽町線 江戸川橋駅下車 徒歩7分

東京メトロ東西線 神楽坂駅下車 徒歩7分

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	総計
学級数	2	2	2	2	2	2	12
児童数(計)	51	54	60	38	51	45	299
児童数(男)	30	37	35	18	25	21	166
児童数(女)	21	17	25	20	26	24	133

■教育目標と指導の重点

教育目標

人間尊重の精神に基づき、日本人として国際社会に奉仕できる人間性豊かな子どもの育成を目指し、次の目標を定める。

- ・よく考えやりぬく子
- ・明るくじょうぶな子
- ・仲よく助け合う子

指導の重点

- ・各教科言語活動の指導方法を改善し、語彙力、表現力向上の指導の工夫を図り、楽しく豊かな学校生活と、よさを認め合える人間関係を築けるようにします。
- ・教科担任制を実施し、より深い児童理解のもと、一人ひとりの学力を最大限に伸ばします。
- ・早朝運動などを通して、子どもたちの体力をより向上させ、ねばり強く努力するたくましい心を育てます。
- ・礼儀正しく規律ある学習態度と生活態度の指導を徹底し、規範意識と自立心を育てます。
- ・異学年交流活動や地域との連携を進め、人と多様に関わる場を設定し、積極的に関わろうとする態度を育てます。
- ・1年生から外国語に慣れ親しむ活動を重ね「コミュニケーション力」を育てます。

■児童会の活動

〈児童会活動〉

代表委員会…4年生以上の代表で構成し、児童会活動の計画を立て、企画・運営をしています。

委員会活動…5年生以上が各委員会に所属し、学校の一員としての自覚を高めています。

〈たてわり班活動〉

異学年集団である「なかよし班」を編成し、年間を通して集会や各行事などに取り組み、温かい人間関係や協力の大切さを学び、思いやりの心を育てています。

- ・なかよし班遊び
- ・なかよし班集会
- ・あいさつ運動

■総合的な学習の時間の取り組み

○地域の自然や伝統・文化を生かした活動を通し、身近な人や物、自然に積極的に関わり、郷土への愛着や誇りをもたせます。

- ・地域探検
- ・地域調べ学習
- ・祭りへの参加
- ・地域での弟子入り体験
- ・植物を育てる活動

○食の教育を推進しています。

- ・食材の栽培
- ・外部専門家や企業と連携した食育の授業

○情報化の進展に対応できる力を育てています。

- ・ICT環境を活用した積極的な情報教育、情報リテラシーの基礎を修得

子ども、保護者・地域、教職員みんなが笑顔あふれる学校をめざして

よく考え やりぬく子

自ら学び、判断し、行動する子の育成

- ★教科担任制を活かした分かりやすい授業
- ★ICTを活用した分かる楽しい授業
- ★主体的・協働的な学びの充実
- ★図書ボランティアとの連携による読書活動の充実
- ★地域の教育力を生かした授業実践



明るく じょうぶな子

心身ともにたくましい子の育成

- ★笑顔プロジェクト・ゲストティーチャーによる授業
- ★長なわ、短なわ、マラソン月間の実施
- ★早朝運動の実施（江戸川ギネス）
- ★専門家と連携した教育の充実



仲よく 助け合う子

よい人間関係を築く子の育成

- ★地域協働学校として、地域の方々との交流
 - ・保育園との交流
 - ・福祉、デフリンピック教育
 - ・弟子入り体験
 - ・阿波踊りお囃子体験
- ★異学年交流（なかよし班活動など）
や保育園、中学校との交流





▲学校ホームページ



所在地／新宿区市谷山伏町1-3

電話／03-3266-1603

FAX／03-3266-8078

交通／都営大江戸線 牛込柳町駅下車徒歩7分

東京メトロ東西線 神楽坂駅下車（矢来口）徒歩12分

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	総計
学級数	2	3	3	3	2	3	16
児童数(計)	62	101	76	92	65	73	469
児童数(男)	35	47	38	50	33	40	243
児童数(女)	27	54	38	42	32	33	226

■教育目標と指導の重点

〔市谷小学校の教育目標〕

- 明るく じょうぶな子ども
- よく考え やりぬく子ども
- きまりを守り なかよくする子ども
- すなおで 思いやりのある子ども

〔指導の重点〕

- ①各教科において、積極的にICT機器（タブレット端末）を活用した授業を展開し、学校と家庭が連携して個別最適化学習及び協働学習の推進を図る。
- ②「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて、問題解決的な学習の充実やペア、グループなどによる学び合いの機会の確保などを図り、授業改善及び確かな学力の育成に努める。
- ③感じ取ったことや考えたことを言葉や歌、身体、文章等を使って多様に表現したり、異なる意見の人と討論・討議を行ったり、協働的に議論して集団としての意見をまとめたりする学習活動を重視する。
- ④体験的な学習や問題解決的な学習の充実を図るとともに、個別指導やグループ別指導、学習内容の習熟の程度に応じた指導、児童の興味・関心等に応じた課題学習、補充的な学習や発展的な学習等の学習活動を取り入れた指導、少人数指導やチームティーチング、短時間学習等の指導の充実を図る。
- ⑤東京都の体力テストを分析、活用し、バランスよく体力を向上させるため、必要な運動を計画的に取り組ませるとともに、運動の日常化を図る。

■児童会の活動

- ①学級活動、児童会活動、クラブ活動では、集団としての意見をまとめる活動、自分たちできまりをつくって守る活動、人間関係を形成するための活動を通して自主的・実践的な態度を育む。

- ②学校行事においては、異年齢集団による交流等を通して、望ましい人間関係を形成し、集団への所属感を深め、公共の精神を養う。

■総合的な学習の時間の取り組み

- 探究的な学習の課程において、課題の解決に必要な知識・技能を身に付け、実社会・実生活で活用できるようにする。
- 実社会・実生活の中から問いを見いだし、自ら課題を見付け、自ら考えて判断し、よりよく問題を解決できるようにする。
- 他者との関わりを通して、自分の考えを深め、広げることの尊さを理解し、よりよい未来を拓く一員として、地域・社会に参画しようとする態度を養う。

〔特色ある学習テーマ〕

3年

- ・「安全・安心なまちづくりへの地域の取組と支援する人々」
- ・「毎日の健康な生活を自分たちで考えて行動する取組」

4年

- ・「身の回りの高齢者や障害者とともに生きる社会」
- ・「ユニバーサルデザインのまちづくり」

5年

- ・「女神湖について知ろう」
- ・「市谷120周年プロジェクト」
- ・「自分たちが暮らす環境を守る取組～SDGsについて考えよう～」

6年

- ・「日光と新宿の歴史・文化・自然」
- ・「地域の伝統や文化とその継承に力を注ぐ人々」
- ・「市谷小120周年プロジェクト」
- ・「働くって何だろう」

※探究的な見方・考え方を働かせ、地域の「人・もの・こと」を生かした横断的・総合的な学習の時間を行うことを通して、友達や地域の人とともにによりよく課題を解決し、自己の生き方を見つめ、未来を考えていくための資質・能力を育成することを目指す。

生き生きのびのび・一人一人の子どもが 光り輝く市谷小学校

「赤煉瓦堀」
に囲まれた
アカデミックな
学び舎
市谷小学校

学力・体力の向上

- ・主体的に物事にに関わり、「真剣に取り組む姿勢」「集中してやり抜く態度」の育成
- ・自分事として考え、よりよい生き方、よりよい方向性をめざして努力する子の育成
- ・「集中して聞く力」「わかりやすく(明快に)話す力」の育成
- ・粘り強く挑戦し、努力する子の育成(あきらめず最後まで努力する)
- ・自ら「問い(はてな、なぜ、どうして)」をもち、追究する子の育成
- ・体力・健康の維持、向上に努める子の育成

心の教育の推進

- ・「あいさつ」「返事(はい)」「ありがとう」「ごめんなさい」が言える子の育成
- ・最後まで話を聞き、相手や状況に合わせた言葉遣いができる子の育成
- ・進んで人と関わり合い、思いやりの気持ちをもって人と接する子の育成
- ・節度を持ち、時間やルールを守る子の育成
- ・美しいもの、素晴らしいことに感動できる子の育成

『チーム市谷』で連携・協力

- ・校内研究を軸とした組織的な授業力の向上
- ・計画的・組織的な OJT を推進する。
- ・「学びの専門家」としての自覚と責任をもち、教員同士が学び合い、支え合い、高め合える集団を目指す。(One for all, all for one.「一人はみんなのために、みんなは一つの目的のために」)

指導体制・危機管理体制の確立

- ・学年、担当、学校全体での、必要情報や指導方針の共通理解
- ・事故発生時、緊急時の初動対応(けがの手当て、事故の拡大防止、連絡)
- ・個人情報の厳正な管理(児童の個人情報の厳正・的確な取扱い)

保護者・地域・関係機関との連携

- ・120周年記念行事に向けた取組
 - ・一人一人の児童に応じた対応(支援体制、校内委員会、ケース会議の充実)
 - ・地域協働学校運営協議会と連携した教育活動の推進
 - ・外部の人材・専門機関との連携・活用による課題の解決や改善
 - ・教育活動の積極的な情報発信
 - ・『チーム市谷』として、外部の人材を活用して課題の解決や改善を図る
 - ・地域行事への参加〔神楽坂阿波踊りへの参加・金管バンドによる地域演奏会・地域レクリエーション等〕
 - ・特別養護老人ホームとの交流をはじめとするボランティア活動：35年継続
 - ・学校を支えてくださる教育応援団
- 〔図書ボランティア：28年間継続、みどりのボランティア：21年間継続、おやじの会：24年間継続、金管バンド保護者会：27年間継続 等〕
- ・岩手県一関市立金沢小学校との夏と春の交流：令和5年3月末まで35年間継続



まなびの教室

平成28年度から「まなびの教室」が始まりました。市谷小学校は、その拠点校として、他の2校(津久戸小、愛日小)にも巡回指導を行っています。





▲学校ホームページ



所在地／新宿区北町26

電 話／03-3266-1604

F A X／03-3266-8084

交 通／都営大江戸線 牛込神楽坂駅下車 徒歩6分
東京メトロ東西線 神楽坂駅下車 徒歩10分

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	若竹学級	総計
学級数	2	2	2	3	3	3	3	18
児童数(計)	72	69	69	79	99	79	21	488
児童数(男)	35	29	32	43	51	42	11	243
児童数(女)	37	40	37	36	48	37	10	245

■教育目標と指導の重点

教育目標

人権尊重の精神に基づき、心身ともに健康で、知性と感性に富み、「思いやりの心」を学校生活の基盤とし、人間性豊かな児童の育成を目指し、次の目標を設定する。

(あ) あいさつをする子

すすんで気持ちよいあいさつのできる子

(い) いっしょにとりくむ子

協力する楽しさや喜びを感じる子

(じ) じぶんからまなぶ子

自ら学び、自ら考え、主体的に学ぶ子

(つ) つよくげんきな子

心身ともに強くたくましく生きぬく子

■児童会の活動

代表委員会活動をはじめとする委員会活動を中心に交流活動や奉仕活動を行っている。これらの活動に縦割り班で取り組む中で、異年齢の児童が触れ合いを深めている。

また、PTAや地域の支援により、毎年、地域の神楽坂祭り（阿波踊り大会）にほぼ全員の児童が参加している。さまざまな交流の機会を通して児童が学校や地域への愛着を高める機会としている。

■総合的な学習の時間の取り組み

体験的活動や主体的・対話的で深い学びを取り入れ、自ら課題に気づき、解決する力を伸ばしている。

身近な地域の人々や施設、文化財等に進んで触れ合い、開校145年目を迎え本校のよさや自分の住む町のよさを知ることを通して、愛校心や郷土愛を育んでいる。

【例】地域を生かした学習

3年 ……地域安全マップを作ろう

……レッツGO愛日探検隊

……食べもの博士になろう

4年 ……くらしと環境について考えよう

……10歳のドリームマップ

……みんながくらしやすい社会を目指して

5年 ……米・米WORLD

……ハザードマップを作ろう

……地域の歴史と文化を知ろう

6年 ……日本の文化と歴史にふれよう

……世界の中の日本

……思い出を形にしよう

※各学年とも、ICT機器を取り入れた学習多様な人とかかわり、体験を重視した取り組みの中で、豊かな心の育成を推進している。

- ◎様々な人と協働し、思いやりのある心豊かな児童の育成
- ◎日常的な授業改善による主体的な学びの構築
- ◎組織的・計画的な学校運営による教育活動の充実



●豊かな人間性

- ① 全教職員の共通理解のもと、学校のきまり（愛日スタンダード）をしっかり守り、気持ちよく学校生活を送れる児童を育成する。
- ② 異学年・幼児・地域の方々等、多様なかわりの場を設定し豊かな心を育てる。
- ③ 朝の一斉読書、図書委員会の児童による読み聞かせや学校図書館支援員との連携により、進んで読書をする児童を育成する。



図書委員による読み聞かせ

●確かな学力

- ① 言語活動の充実を図り、思考力・判断力・表現力を培い、主体的な学習の仕方を身に付ける。
- ② 副担任制、3年生以上教科担任制、習熟度別の授業形態や指導形態を工夫し、個の学習の定着化を図る。
- ③ 体験的な学習や課題解決的な学習、タブレットを活用した協働的な学習を推進する。
- ④ 愛日スタンダードを基にした学校全体としての学習規律や学び方の共有化を図る。



タブレット端末を活用した協働学習

●たくましく生きる心と体

- ① 児童の生命・人権・健康・安全について意図的・計画的な指導を通して、人権感覚を身に付け、自己を大切にし、たくましく生き抜くための健康や体力づくりを図る。
- ② 体育科では、指導方法の工夫改善授業を実施するために、体育講師を活用してチームティーチングによる効果的な授業を推進し、児童に体を動かす楽しさや必要性を理解させる。
- ③ 特別支援コーディネーターやまなびの教室専門を中心に、都・区のスクールカウンセラー、専門家による巡回相談等との連携を強化し、個に応じた教育の推進を図る。



江戸木版画



まち探検



子ども園との阿波踊り交流

●特色ある教育活動の推進

- ① 「豊かな心」「一緒に取り組む心」を育てる活動の推進
 - 全校児童による「あいさつ隊」
 - 子ども園・保育園・近隣小・中学校との連携（交流活動）
 - 異学年及び若竹学級との交流
- ② 地域人材を活用した体験を重視した教育の推進
 - 地域の伝統や人材を生かした教育活動（宮城道夫記念館、矢来能楽堂、江戸木版画等）
- ③ 外国語教室・異文化理解の推進
 - 外国語活動、外国語科の授業の充実（校内研究・出前授業）
 - 英語による読み聞かせや全校朝会で英語を扱うなど教育活動全体の取組





早稲田小学校



▲学校ホームページ



所在地／新宿区早稲田南町25

電 話／03-3205-9501

F A X／03-3205-9067

交 通／東京メトロ東西線 早稲田駅下車（神楽坂寄り出口） 徒歩4分

都バス（早稲田正門－渋谷）喜久井町下車 徒歩3分

都バス（新宿駅西口－練馬車庫）牛込保健センター下車 徒歩4分

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	総計
学級数	3	4	3	4	4	4	22
児童数（計）	105	112	99	115	111	111	653
児童数（男）	50	47	50	62	58	62	329
児童数（女）	55	65	49	53	53	49	324

■学校の教育目標

人間尊重の精神に基づき、自他の生命を尊び、心身ともに健康で、広く国際社会に貢献できる心豊かな子どもの育成を目指し、次の目標を定めるとともに、以下に示す校訓や併設幼稚園の教育活動及びまなびの教室の教育目標との関連を密接に図ります。

校訓「日進日新」（日に進み日に新たなり）

- 考えて行動する子ども【今年度の重点目標】
- 思いやりのあるやさしい子ども
- 健康でたくましい子ども

■まなびの教室の教育目標■

学校全体の協力体制のもと、多様な視点と方法で児童一人ひとりを見取り、障害に基づく種々の困難の改善・克服の方法を見付けることを目的とする指導を行い、学級や学校、社会の中で自信をもって主体的に生活できる児童を育てます。

■早稲田幼稚園の教育活動（3～5歳の育ち）■

情緒の安定、主体性、自信、協同性、自己発揮…

（1）「考えて行動する子ども」の実現に向けて

- 主体的に思考・判断・表現し、自ら考え行動する力の育成
- 基礎的・基本的な知識・技能等の確実な習得

（2）「思いやりのあるやさしい子ども」の実現に向けて

- 多様なコミュニケーション能力の育成
- 他者を思いやる心の育成

（3）「健康でたくましい子ども」の実現に向けて

- 体を動かす心地よさや楽しさにつながる取組の充実

- 基礎体力の向上を図る取組の推進

（4）まなびの教室における指導を中心とした特別支援教育の推進に向けて

- 支援の必要な児童の学校生活支援シートの作成、就学支援シート・個別指導計画の活用
- マルチメディアデジ教科書の活用促進

（5）早稲田幼稚園との幼小連携に向けて

- 併設幼稚園の保育参観、幼稚園教員による授業参観
- 児童と、併設幼稚園の幼児との交流活動

■児童会活動

- あいさつ運動
- なかよし活動（縦割り班活動）
- 児童集会

■特色ある教育活動

- 小中連携（牛込第二中、鶴巻小との連携）
- 保幼小連携（保育園や幼稚園との交流など）
- 学校図書館教育（調べる学習コンクールなど）
- 伝統文化理解教育
- 障害者理解教育
- 地域協働学校の取組（学習支援[早稲田学]、読書支援、スポーツ支援）
- 課外活動（早稲田小金管バンド）
- 保護者向け案内チラシのデジタル配布

■総合的な学習の時間における探究的な学び

- 《3年生》「発見！早稲田の町」「元気パワーアップ」
- 《4年生》「環境について考えよう」「心のバリアフリー」「地域安全マップを作ろう」
- 《5年生》「ライスはナイス」「最高学年に向けて」「つなGo！ 5と5」
- 《6年生》「日本と世界の国々について調べよう」「未来に向けて」
- 《共通》調べる学習コンクールにかかわる取組

校訓
日進日新

歴史と伝統のある早稲田小学校

開校125周年

児童にとっての「環境を通した学び (Education through the environment)」や、教師にとっての「環境構成 (学習環境の整備)」を基本方針のコンセプトとして、教育活動を推進していきます。

「考えて行動する子ども」の実現

主体的に思考・判断・表現する力の育成
基礎的・基本的な知識及び技能の習得



- ★デジタル教材と紙教材のベストミックス
- ★個別最適な学びと協働的な学び
- ★読むことに浸ったり、味わったりすることのできる読書活動（電子図書館を併用）

「思いやりのあるやさしい子ども」の実現

多様なコミュニケーション能力の育成
他者を思いやる心の育成



- ★多様な人とのかかわる活動の推進
- ★外国語でやりとりする楽しさを感じる学びの推進
- ★学区内の保幼小連携、小中連携の充実

在籍児童や連携・交流先の子どもたち「みんな」を、
子どもにかかわる大人「みんな」で育てる学校

「健康でたくましい子ども」の実現

体を動かす心地よさや楽しさにつながる体力の向上
基礎体力の向上を図る取組の推進



- ★スポーツテストなど家庭と連携した取組
- ★長なわ週間やマラソン月間の取組
- ★歯や目に関する健康教育の実施

地域協働学校としての取組

地域の教育財産の利活用の推進
地域に根差した教育活動の充実



- ★子どもの笑顔を引き出す学習支援
- ★地域がステージの学びの創造
- ★町たんけん等の支援



鶴巻小学校



▲学校ホームページ



所在地／新宿区早稲田鶴巻町140
 電話／03-3205-9502
 F A X／03-3205-9105
 交通／東京メトロ東西線 早稲田駅下車5分
 東京メトロ有楽町線 江戸川橋駅下車13分

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	総計
学級数	1	1	2	1	1	1	7
児童数(計)	22	24	41	24	32	23	166
児童数(男)	11	16	19	11	16	13	86
児童数(女)	11	8	22	13	16	10	80

■教育目標と指導の重点

〈教育目標〉

鶴巻小学校の児童としての自覚をもち、人間尊重の精神を養い、社会に貢献し、国際社会に寄与できる心身ともにたくましい、人間性豊かな日本人の育成を目指す。

- よく考える子ども（学びが大好き）
- 思いやりのある子ども（友達や地域が大好き）
- たくましい子ども（遊びや運動が大好き）

〈指導の重点〉

- 工夫と成果が目に見える学習指導の実践
 - ・朝学習の時間の設定やタブレットPCのドリル機能を活用した家庭学習の習慣化、音読・読書指導や放課後個別指導（つるっこ塾）の充実を図る。
 - ・学び合いを重視した問題解決型の学習を日常的に実施し、思考力・判断力・表現力の育成や児童一人一人の主体的な活動を促す指導の工夫を推進する。
 - ・全児童へ貸与されたタブレットPCや大型ディスプレイを有効活用しながら、全教員が足並みをそろえてGIGAスクール構想の実現を目指す。
 - ・本物（人、社会、実物、自然など）から学ぶ活動の計画的実施と充実を図る。
- 心と体の健全な育成のための指導の充実
 - ・生命尊重の精神や道徳的実践力を養うための道徳教育の充実を図る。
 - ・6年生を手本とする伝統の創造、縦割り班活動(異学年交流)の充実を図る。
 - ・体力向上を目指し、スポーツテストや新宿スポーツギネスを生かした運動や遊びの工夫、なわとび旬間、持久走旬間を計画的に実施する。

■児童会の活動

代表委員会は、4年生以上のクラス代表で組織し、日本赤十字社のご指導をいただきながらJRC活動や募金活動な

どの社会貢献活動を行います。平成27年度にはこれまでの活動に対し、金色有功章をいただきました。

6月に行う「つるまき小まつり」は、児童が特に楽しみにしている行事の一つです。学年ごとにお店を出し合い、学校全体が一つになって取り組んでいる行事で、この日は、全児童が楽しく安全に参加できるよう、それぞれが工夫して「遊びのお店」を計画して運営し、当日は楽しい時間を過ごしています。

■総合的な学習の時間の取り組み

本校では、問題解決的な学習を大切にしています。児童一人一人が問題意識の質を高め、解決に意欲的に臨み、豊かな実践力を身に付けることができる授業を推進しています。

《3年生：「神田川はどんな川？」》

社会科の町探検の学習を発展させ、地域の名産である早稲田みょうがの栽培に取り組んでみたり、地域産業や神田川の概要について学んだりなど、川の姿の違いや問題点について考える。

《4年生：「安心・安全なつるまき」》

自分たちの住んでいる町の安全性を、実際にフィールドワークに出かけて確認し、マップにまとめることにより、自ら危険を予測したり回避したりする力を学習活動によって身に付ける。

《5年生：「稲のエコを学ぼう」

～屋上田んぼでお米をつくろう！～

屋上の田んぼにおいて、すべて手作業で稲作を体験する。その中で水田に集まる昆虫や動物の発見を通して、豊かな環境について考える。

《6年生：「環境を守るためにできること」》

企業の努力や工夫を通して、身近な環境問題について実態を理解する。自分ができることを知り、その役割や大切さを理解する。

鶴巻小学校 開校100周年「つるっ子 みんなの心をのせて 伝統をつなごう」

児童が今日一日を心に描き、期待に胸をふくらませて登校する学校
 ～「本物との出会い、本気、チャレンジ、責任、貢献、達成感」をキーワードに、人や社会、自然と豊かにかかわる「鶴巻小だからこそ」できる教育活動を積極的に推進する～

本物から学ぶⅠ 「本物との出会いを通して体験と知的世界の融合を目指す」

- ・ 問題解決的な学習を通して基礎的な知識や技能を獲得し定着させます。
- ・ 体験からの気付きや考えを表現(他者へ発信)する力を身に付けさせます。
- ・ 事実や事象を整理、分析する学習過程を通して論理的な思考力を育てます。



屋上田んぼでお米をつくろう！



地域の資源を活用した授業「ざりがに釣り/大隈庭園」

鶴巻小学校の特色ある教育

「基礎的な学力を確実に定着させ、身に付けた知識を活用し、将来の社会を生き抜く力としての知恵(確かな学力・豊かな心)を育てる」

本物から学ぶⅡ 「よりよい社会を創ろうとする人の姿から『生き方』を学ぶ」

- ・ 具体物を通して、社会の問題や生き方について実践的に考えさせます。
- ・ よりよい社会を創ろうとする人の姿から「生き方」を学ぶ機会をつくります。
- ・ 関係機関等との連携を図り、地域を愛し地域に貢献する豊かな心を育てます。



ボッチャに挑戦



ふれあい給食



牛込仲之小学校



▲学校ホームページ



所在地／新宿区市谷仲之町4-33

電話／03-3358-3762

FAX／03-3358-3755

交通／都営新宿線・曙橋駅、都営大江戸線・若松河田駅、牛込柳町駅
都バス・東京女子医大前又は市谷仲之町交差点

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	総計
学級数	2	2	2	2	2	2	12
児童数(計)	53	49	66	47	51	61	327
児童数(男)	30	24	30	26	26	30	166
児童数(女)	23	25	36	21	25	31	161

■教育目標と指導の重点

◆教育目標

人間尊重の精神を基調とし、社会の秩序を守り、健康で文化的な生活を築く、心身ともに健康な児童の育成を目指して、次の目標をおく。

- 健康で明るい子
- よく考え、工夫してやりとげる子
- 心やさしく思いやりのある子

◆指導の重点

- 【各教科】 ☆基本的な内容の確実な定着と学力向上
☆体験的な学習、問題解決的な学習の重視
☆児童の多様な考え方を大切にした指導
☆主体的に取り組む児童の育成
☆「伝え合う力」の能力・態度の育成

- 【特別の教科 道徳】 ☆豊かな心情と正しい判断力、社会性と道徳実践力の育成
☆指導法の工夫
☆「心の教育」(命の大切さを学ぶ授業)の一層の充実

- 【外国語・外国語活動】 ☆ALTの活用
☆日本と外国の生活・文化・習慣・行事等の違いを知り、理解を深める

- 【特別活動】 ☆自分の役割を果たす態度と能力の育成
☆集団の一員として奉仕し、喜びを感じる心の育成
☆関わりを通じた自主的・実践的な態度の育成

■児童会の活動

◆代表委員会

4年生以上の各クラス代表で組織し、自発的、自治的に活動の計画を立て、実行する。活動内容として、「1年生を迎える会」「子どもの集い」「募金活動」「6年生を送る会」等の企画・運営をする。

◆委員会活動

5、6年生が集会・運動・保健・給食・放送・図書・代表の各委員会に分かれて仕事を進め、学校の一員としての自覚を高め、自主的・社会的な生活態度を身に付け、個性の伸長を図る。

◆全校児童集会と縦割り班活動

全校児童が参加する「1年生を迎える会」「子どもの集い」「6年生を送る会」と月1～2回の児童集会がある。児童集会や縦割り班活動では、1～6年生の異学年の仲間と一緒に活動し、交流と親睦を図る。

■総合的な学習の時間の取り組み

☆タブレットPCを活用して、情報処理能力の素地を育てている。また、外部講師を招いた国際交流の時間を通して国際理解への関心を高めている。

☆栽培活動や学校緑化を通して、自然や植物を愛育てる心を育むとともに、保護者や地域の人々とのふれあいや交流を深めている。

☆中学年で身に付けた課題解決の方法を生かし、高学年では、自ら課題を見付け、解決する能力や態度を備えた児童を育成することをねらいとしている。

笑顔あふれる牛込仲之小学校

「登校が楽しみ」 どの子も笑顔で過ごせる牛仲小
 「通わせてよかった」 保護者から信頼される牛仲小
 「大切にしたい」 地域関係者が誇りに思う牛仲小



☆縦割り班活動

異学年の児童で縦割り班をつくり、6年生を中心に遊びを計画し、仲良く楽しく活動しています。



☆地域と共に

生活科や社会科、総合的な学習の時間では、地域の方と関わり合いながら学んでいます。また、清掃活動やクラブ活動でも地域の方々と楽しく活動しています。

創意工夫ある教育活動



☆朝運動

保護者、地域のボランティアに見守られながら、火曜日と金曜日の朝7:45～8:05に校庭遊びを行っています。



☆確かな学力

算数では、1年生から少人数指導を行っています。習熟度に応じた数学的活動を通して、試行錯誤しながら学びを深めています。

クリーンアップ仲之

全学年で地域の方やボランティアの皆さんと一緒に近くの公園や道路を清掃し、環境美化と郷土愛の心を養っています。

一人一人を大切に

日本語担当教諭による外国籍児童への日本語指導や学習指導支援員・特別支援教室専門員及び特別支援教育推進員による授業補助・放課後仲之教室の実施など、きめ細かな教育を展開しています。

併設幼稚園との交流

いろいろな学年が、一緒に遊んだり、お話を聞かせようと幼稚園をたずねたり、学校の行事に幼稚園児が参加したりしています。同じ建物の中にあるので、休み時間など、普段の生活の中でも交流があります。



▲学校ホームページ



所在地／新宿区富久町7-24

電 話／03-3358-3763

F A X／03-3358-3756

交 通／・都営新宿線 曙橋駅より徒歩8分

・東京メトロ丸の内線 四谷三丁目駅より徒歩12分

・都営バス 新宿駅西口発 練馬車庫行10分 市ヶ谷富久町下車 徒歩3分

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	総計
学級数	2	2	2	2	2	2	12
児童数(計)	43	66	44	53	43	54	303
児童数(男)	20	40	25	23	27	28	163
児童数(女)	23	26	19	30	16	26	140

■教育目標と指導の重点

「教育目標」

人間尊重の精神を骨幹とし、国際社会において信頼され、主体的で人間性豊かな児童を育成するため、次の目標を定める。

『教養と礼儀を身に付け 勇気をもって前向きに生きる 富久の子』

○教養と礼儀

ただ単に、知識や技能を教養ととらえるのではなく、その人の内面からあふれ出てくる、人としての「やさしさ」「強さ」「厚み」「深さ」等の基礎を学習や生活の中で身に付ける。礼儀は、社会で生活していくために必要な資質である。人権尊重の精神の中心的なものとしてとらえる。

○勇気をもって前向きに生きる

測定ができる体力や運動の技能のみを体力としてとらえず、健康に明るく前向きに生きるための基礎を身に付ける。

「基本的生活習慣の確立」「失敗を恐れず、挑戦する」「失敗を糧にする」「体力の向上」

■児童会の活動

児童相互のかかわりを大切にして、認め合い、受け入れ、高め合える人間関係を育むとともに、自分なりの考えをしっかりともち判断して、自主的・実践的な態度を養っていきます。

○代表委員会のあいさつ運動

代表委員会が中心となり、「富久小地域応援チーム」の皆様と共に「あいさつ運動」に取り組んでいます。全校児童が元気にあいさつできるように、代表委員が率先して毎朝すがすがしい声を響かせています。

○たてわり班活動

1年生から6年生まで全学年で構成される12のたてわり班を組織して、6年生を中心に、年間を通じて活動します。異学年集団の中で自分の力を発揮したり、お兄さんお姉さんの姿を見て学んだり、協力し合ったりなど、楽しさを実感しながら社会性を育てていく取組を目指しています。

その他にも、ユニセフ募金活動など、社会貢献活動を行っています。

■総合的な学習の時間の取り組み

地域と連携した学習教材を発掘します。富久町、市谷台町のまちの「ひと」「もの」「こと」から学び、各教科との系統性と関連性を明らかにしながら、横断的・総合的な学習を展開し、地域で育て、地域で輝く子どもを育てます。

地域協働学校運営協議会、スクールコーディネーター、関係機関と連携し、地域とつながり、地域のよさや伝統を学んでいきます。

【学習計画】

○3年「(仮) わが町 富久」

富久町に古くから残っているもの、今は姿を変えているものなどを調べながら、地域のよさを発見し、「富久地域かるた」「安全マップ」を通して、自分たちが暮らす町のよさや伝統などを発信していきます。

○4年「(仮) 江戸東京野菜を育てよう」

新宿区の伝統野菜を知り、伝統野菜を復活させようとする人々の思いや願いに触れながら、「内藤とうがらし」を育て、収穫し、そのよさや伝統などを発信していきます。

○5年「(仮) 防災について考えよう」

災害が起きたとき、毎日通っている学校がどのような役割を担うのか、避難所としてどのような機能があるのか、ここまでの避難経路、校内に設備が作られるのかなど詳しく調べていきます。災害が起きたときに自分たちは何ができるのかなど防災に対する関心・理解を深めて発信します。

○6年「(仮) 富久のまちを盛り上げよう」

自分たちのまちをフィールドワークし、地域の行事について考えたり、問題点を解決したり、気付いたよさを発信したりするなど、自分たちで地域を盛り上げていける方策を見つけ、持続可能な社会やまちづくりの一員としての願いや行動を実践できるようにします。

和やか 柔らか さわやか 活気あふれる学校

目指す児童像

和やか

寛容な心もち、多様な考え
やお互いの存在を受け入れ、
認め合い、高め合える子ども

柔らか

多角的、多面的に柔軟に物事
をとらえ、自分なりの考えを
しっかりともてる子ども

さわやか

失敗を恐れず挑戦し、潔く失
敗すらも受け入れ、勇気をも
って、前向きに生きる子ども

子どもにとって安心・安全のための3つの柱

寛容で人間性豊かな心

- ・教養と礼儀
内面からあふれ出す、人としての「やさしさ」「強さ」「厚み」「深さ」を
身に付ける
- ・立ち居振る舞い：「感謝」「あやまること」「礼儀」「言葉遣い」「表情」「姿勢」
「身だしなみ」相手を思いやる美しい心
- ・寛容な心：「受け入れ」「許す・認める」「高め合う」「感謝して人を敬う」「謙
虚に自己を見つめる」相手を受け入れる心

安心できる学習

- ・分かるという安心
- ・分かるまで教えてくれる安心
- ・先生や友達が認めてくれる、受け入れてくれる安心
- ・自分自身を表現できる安心

勇気をもって前向きに生きる

- ・失敗を恐れず、挑戦する。勇気をもって再度挑戦する
- ・測定できる体力や、運動の技能だけを体力ととら
えず、健康に明るく前向きに生きるための基礎を
身に付ける

ワクワク・ドキドキ・生き生き 心が動く主体的、対話的で深い学び

- 国語、道徳、総合的な学習の時間、特別活動で
話し合う力を伸ばす授業の実践
- タブレット端末や協働学習支援ツールを活用した
学び合いや、思考力伸長を図る学習の充実



地域との連携と特色ある教育活動

- PTA 図書ボランティアによる朝の読み聞かせや、
図書室コンシェルジュによる図書館教育の充実
- 地域と連携した学習教材の発掘と学習内容の持続
- 「地域応援チーム」と協力したあいさつ運動
- 新宿区サッカー協会代
表チームクリアソン新
宿と連携した、ランニ
ングトレーニングなど



特別支援教育の推進

- まなびの教室拠点校の強みを生かした、合理的
配慮・多様性の尊重、インクルーシブ教育の実現、
学びのユニバーサルデザインの推進
- アセスメントツールを活用した
きめ細かい指導の実践



金管バンド・和太鼓

- 金管バンド … 4、5、6年有志による活動
校内コンサートやコンクールへの参加
- 和太鼓 … クラブ活動
地域の夏祭
りで練習の
成果を披露





▲学校ホームページ



所在地／新宿区若松町 13 - 1

電 話／03 - 3205 - 9503

FAX／03 - 3205 - 9478

交 通／都営大江戸線 若松河田駅 河田口より徒歩 3 分

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	わかまつ学級	総計
学級数	2	2	2	2	2	2	1	13
児童数(計)	56	52	61	61	57	55	1	343
児童数(男)	32	21	31	33	28	33	1	179
児童数(女)	24	31	30	28	29	22	0	164

※わかまつ学級は、平成25年4月1日に東京女子医科大学病院内学級として設置された学級です。

■教育目標と指導の重点

(1) 学校のエデュケーショナル・ゴール

人間尊重の精神を基調とし、国際社会の一員としての自覚と社会連帯意識をもち、自ら考え、判断し、行動できる人間性豊かな児童の育成を目指し、次の目標を設定する。

- 思いやりをもち助け合う子
- よく考え工夫する子
- たくましく元気な子

(2) 指導の重点

- ・学習指導要領に基づく指導計画をもとに、一人ひとりの児童が自ら考え主体的に判断し、行動できる資質や能力を育成するため、問題解決的な学習や体験的な学習活動を重視し、基礎的・基本的な内容の習得の徹底を図る。また、ICT機器を積極的に活用し、学習理解に役立てる。
- ・自ら学ぶ意欲をもち、主体的に学ぶ楽しさや学習の達成感を味わわせるために、年間指導計画及び評価計画に基づいたねらいや学習内容を明確にした授業づくりを行う。
- ・確かな学力の定着を目指すために、チームティーチングや少人数学習指導を効果的に実施する。児童一人一人の個性や能力に応じた指導を充実するため、学習指導支援員を有効に活用する。

■児童会の活動

学校の全児童をもって組織する児童会において、学校生活の充実と向上のために諸問題を話し合い、協力してその解決を図る活動を行う。

○代表委員会

4年生以上の各学級から男女一人ずつ選出する。学級代表を中心に代表を設置していない学年（1～3年生）の意見も取り入れ全学年の意見を反映できるようにする。

○たてわり班活動

1～6年生までを14の班に編成し、月1回のたてわり班遊びと年1回のたてわりロングを行い交流をする。

○ロング集会

1年生を迎える会、6年生を送る会

■総合的な学習の時間の取り組み

- ・総合的な学習の時間では、各教科で身に付けた知識や技能を相互に関連付け、学校で学ぶ知識と生活との結び付き、知の総合化の視点を重視しながら、生活に生きて働く力の育成を図る。

3年生：給食大好きプロジェクト・新宿区の自慢を見つめよう 他

4年生：一人一人とつながり隊・余丁町のすてきなところを伝えよう 他

5年生：日本の主食を守ろうプロジェクト・地球と共に生きるプロジェクト 他

6年生：河口湖探検隊・卒業プロジェクト 他

地域との協働による学校づくり ～たてわり班活動の充実～



- ・保護者、地域の教育力を教育活動に生かします。(町たんけん、たてわり班など)
- ・地域協働学校運営協議会や外部評価を生かした教育を進めます。

体験活動を通して環境教育を推進



- ・バケツの稲作り、観察池、ゴーヤによる緑のカーテン、雨水タンクを利用した栽培活動などの体験を通して、自然とともに生きる自分を意識し、環境について考えます。

個に応じた指導の充実



- ・特別支援教育の視点を日常化し、児童それぞれの教育ニーズに応じた適切な教育環境の整備と児童への支援体制の充実を図ります。
- ・心の健康を重視し人間性豊かな児童の育成に努めます。

確かな学力の定着



- ・教員は研究・研修を通して自らの資質・能力を高めます。
- ・教科担任制や交換授業少人数指導や副担任制など、複数の教員で児童一人一人に応じた指導を進めます。

ICTを活用した授業の工夫



- ・令和3年から一人一台タブレット端末を活用した、より効果的な学習指導を展開しています。また、GIGAタイムを活用して操作性の技術の向上にも努めています。

和太鼓愛好会の活動



- ・和太鼓愛好会を通して地域行事への参加や施設への訪問などを行い、学校と地域との交流を図っています。

余丁町小学校の特色ある教育活動





▲学校ホームページ



所在地／新宿区戸山2-34-2

電話／03-3205-9504

FAX／03-3205-9487

交通／都営大江戸線 東新宿駅徒歩 10分

JR山手線 新大久保駅徒歩 15分

東京メトロ副都心線 東新宿駅 5分

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	若草学級	総計
学級数	1	1	1	1	1	1	6	12
児童数(計)	19	28	33	30	22	27	41	200
児童数(男)	10	15	18	15	12	13	32	115
児童数(女)	9	13	15	15	10	14	9	85

■学校の教育目標

人権尊重の精神を基調とし、知性と感性に富む心身ともに健康な「自立する子ども」の育成を目指します。

◎すすんで学ぶ子〔重点目標〕

よく考え、自ら進んで学ぶ子ども

◎なかよく力を合わせる子

仲良く助け合い、協力する子ども

◎心とからだをきたえる子

明るく元気で、ねばり強い子ども

■指導の重点『最高のオンリーワンを目指して』

○児童の実態や課題に即し、個別的指導、習熟度別指導、チームティーチングを選択し、個に応じた指導を充実させ、基礎的・基本的な内容の確実な定着と学力の一層の向上を図ります。

○総合的な学習の時間をはじめ各教科・領域の指導の工夫・改善を進め、児童の興味・関心・意欲を生かして、自ら考え自ら課題解決する資質やコミュニケーション能力・情報活用能力の向上を図ります。

○道徳教育、人権教育を総合的に関連付け、自他の個性や能力・障害などへの理解を深め、思いやり、感謝の心・平和の心を育みます。

○特別支援教育コーディネーターを中心に、特別支援教育推進員・スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーと連携して、個々の児童への支援や保護者との教育相談を充実させます。

○栄養士を中心に、SDGs 視点から健康・安全教育を充実させて心とからだの健康づくりや食育推進の拠

点として、『スマイルカフェ』を活用し、児童の主体的・協動的な学びの機会を創ります。

○地域協働学校運営協議会委員とともに保護者や地域社会との連携協力・協働し、自然を大切に思う心を育てるため、校庭の土手やビオトープを活用し、環境教育の充実を図ります。

■児童会活動

○縦割り班活動(年6回)

給食終了後約30分間、6年生がリーダーとなった異学年集団で仲良く遊びます。遊びの内容は、相談して決めます。

○集団活動

児童集会では、委員会からの発表やゲーム等の楽しい企画がたくさんあります。昼の時間(スマイルタイム)には若草学級との交流の時間もあります。

■総合的な学習の時間の取り組み

本校では、「環境」「異文化・国際理解」「福祉・健康」「いのちの学習」「キャリア」「情報」を柱に、学習活動を展開しています。

○環境学習ではビオトープ・水田・校庭の土手・芝生・学校周辺の豊かな自然等を通じて、自然・命への気付きや理解を深めています。

○国際理解については、外国人の方々との直接的な交流や外国語活動と関連させ、日本文化のよさと他国の文化についての理解を進めています。

東戸山小の教育活動

さわやかな挨拶が響き みんなの笑顔が こだます学校

主体的に思考・判断・表現し、自ら考え行動できる「自立する子ども」をはぐくみます。

- ◆主体的・対話的で深い学びを自分たちで創っていく教育活動の推進
- ◆誰にも分かりやすく落ち着いて学習に取り組めるユニバーサルデザイン化の推進
- ◆タブレット端末等を安全安心に使いこなす新宿区版GIGAスクール構想の実現
- ◆調べ方が分かり、調べることが楽しくなる1年生から取り組む「図書館を使った調べる学習コンクール」への挑戦

基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得し、活用・発信を目指します。

- ◆自分に合った学び方を身に付け、自ら学習に取り組もうとする意欲と協働意識の向上
- ◆忘れたことは繰り返し学び直せる学習環境の整備
- ◆「できない時もあきらめさせない」学びを生かして活用・実践できる児童の育成
- ◆学力向上重点プランに基づく、授業改善やパワーアップタイムの活用・推進

よりよく生きる心を養い、“いのち”を感じ、“いのち”と向き合う“いのち”の教育を推進します。

- ◆豊かな人間性と社会性をはぐくむ教育活動の推進
- ◆自分事として物事を考え、相手意識を磨く全教育活動を通した道徳教育の推進
- ◆「みんなちがって、みんないい」インクルーシブで温かい障害者理解教育の推進
- ◆すべての“いのち”が喜びあふれる“いのち”の教育の推進

多様なコミュニケーション能力の育成を図る教育を推進します。

- ◆人権教育を基盤とした児童の笑顔を引き出す魅力ある教育活動の推進
- ◆多様性への理解を基盤としたグローバルな国際理解教育の推進
- ◆「架け橋プログラム」の作成・実践と幼保子・小中の連携教育の充実
- ◆誰一人取り残さない魅力ある体育的行事と東京2025デフリンピックに向けた教育の推進

保護者・地域・関係諸機関と連携・協働し、安全・安心な学校教育を推進します。

- ◆学校危機管理マニュアル等に基づく学校の安全管理の徹底
- ◆児童虐待防止、体罰根絶による児童の“いのち”と人権を守り抜く決意と覚悟
- ◆子どもたちと笑顔で向き合うための学校の働き方改革のさらなる推進
- ◆令和7年度版「いじめ防止基本方針に基づくいじめ防止対策」の推進
- ◆不登校や出席停止児童等への学びの保障と絆を深める活動の推進

特色ある教育活動



広い砂の校庭



緑あふれる中庭での学習



1・2・3年生合同遠足



イングリッシュキャラバン



スマイルスポーツフェスタ



学習発表会での英語劇



▲学校ホームページ



所在地／新宿区四谷2-6

電 話／03-5369-3776

F A X／03-3341-4343

交 通／JR中央線 四ツ谷駅 徒歩7分

東京メトロ丸ノ内線、南北線、四ツ谷駅 徒歩7分

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	総計
学級数	3	4	3	4	4	4	22
児童数(計)	113	124	92	126	107	108	670
児童数(男)	64	64	42	68	75	62	375
児童数(女)	49	60	50	58	32	46	295

■教育目標と指導の重点

人間尊重の精神を基に、広く国際社会に協調できる心豊かで心身ともにたくましい、主体性をもつ児童の育成を目指し、次の目標を掲げる。(知・徳・体にかかわる3本の柱)

自ら学び、よく考える子

(すすんで学習に取り組み、考えて表現する子を育てます。)

豊かな心をもち、思いやりのある子

(集団生活を楽しみ、人の役に立つことを喜びとする子を育てます。)

最後までやりぬく、たくましい子

(目標に向かって努力し、やりぬく気力や体力をもつ子を育てます。)

- ・自ら学ぶ意欲をもち、課題解決に主体的に取り組む児童を育てます。
- ・実験や観察等、体験的な活動を重視し、児童自身の知的好奇心や探求心を高め、柔軟な思考力や判断力、表現力の育成を図ります。
- ・習熟度別指導や複数の教師による指導の工夫、児童の興味・関心、習熟度など、個に応じた指導が十分に達成できるようにします。
- ・子ども園との連携を視野に、なめらかな接続を目指した小学校低学年での学習指導の創造と改善を行うとともに、全学年の教育活動の中で交流と連携を探り、学習内容の充実、豊かな心の育成ができるようにします。
- ・児童が様々な人々とかわる活動を学習に取り入れ、主体的な問題解決学習が展開できるようにします。
- ・図書館スタッフ等による読み聞かせや朝読書の活動をさらに充実させ読解力の向上を図り、豊かな心情を培います。
- ・地域に根差す「地域協働学校」として、児童が心のぬくもりや、地域の人々の思いやりを感じ取ることがで

きるようにします。学校運営協議会の参画を得て、地域の教育力を積極的に生かします。また、学校、家庭、地域が一体となって活気あふれる教育活動を展開し、「心のふるさとづくり」を目指します。

■児童会の活動

- ・委員会は「代表」「運動」「図書」「保健」「給食」「集会」「放送」「環境」「新聞」「国際交流」「広報」の11の委員会で、日常活動に取り組んでいます。
- ・代表委員会は4年生以上の各クラス代表で組織し、学校行事や集会等の計画作りや運営を行っています。
- ・クラブは「屋外スポーツ」「屋内スポーツ」「卓球」「まんが・イラスト・小説」「パソコン」「造形」「科学」「料理・手芸」「鉄道」「しょうぎ」「ダンス」「映画」の12クラブが活動しています。

■総合的な学習の時間の取り組み

- 自分で見つけた課題について、各教科で身に付けた知識や技能を相互に関連付けながら多面的に追究するなど、学び方を身に付けます。
- 人とかがわって学ぶことを通して、互いのよさや違いを認めたり、自らの生き方を考えたりできるようにします。

■社会科教育の充実

- ・教育課程実践検証協力校(小学校社会科)
- ・新宿区教育委員会研究発表校
「個別最適な学びと協働的な学びの一体的充実～じぶん発ーみんな経由ーじぶん行きの授業を通して」
- ・新宿区教育課題研究モデル校「この子(個)がキラキラ輝く学びの実現」

確かな学力の定着

- 基礎・基本の定着 ○学びの規律の定着
- 問題解決的な学習の推進 ○体験活動の充実
- タブレットPCの活用



心豊かな子の育成

- あいさつ上手な子、思いやりのある子の育成
- 月1回の、地域の方のあいさつ運動



教育目標 ○自ら学び、よく考える子
○豊かな心を持ち、思いやりのある子 ○最後までやりぬく、たくましい子

健康で丈夫な子の育成

- 「新宿ギネス」への挑戦
- 令和4年度 東京都体力向上推進優秀校として東京都から表彰されました



姉妹校交流

- 天童交歓会（宿泊行事・ホームステイ）
- 授業を通じた相互交流・作品交流



よつやの子

い子 よい子 さしい子



地域協働学校 支援部会「スマイルクラブ」

地域と共に歩む四谷小

- スマイルクラブに登録された多くの方々によって教育活動を支えていただいています。
(学習支援、図書、園芸、あいさつ運動、金管バンド応援、天童交歓行事支援等)

四谷子ども園・四谷中学校との連携 連携教育を推進する四谷小

- かけ橋カリキュラムを作成し、わくわくドキドキタイム（小1スタートカリキュラム）を実施したり、行事を通じて交流を図ったりしています。
- 金管バンドが春コンサートで四谷中吹奏楽部とコラボをするなど連携しています。

姉妹校交流

天童市立干布小との交歓事業 長い歴史を積み重ねる姉妹校交流

- 相互に宿泊行事（キャンプ・ホームステイ・四谷小が夏休み、干布小が春休み）に直接交流をします。
- 四谷小と干布小で学習の成果を作品等で間接交流をします。

まなびの教室

一人一人を大切にする四谷小

- 特別支援教室の指導者、特別支援教室専門員と連携して個に応じた指導を工夫します。
- 特別支援コーディネーターを中心にスクールカウンセラーや特別支援教育推進員、担任等連携を図り、特別支援教育を推進しています。



▲学校ホームページ



所在地／新宿区大京町 30

電 話／03 - 3358 - 3767

FAX／03 - 3358 - 4048

交 通／JR 総武・中央線 信濃町駅下車 徒歩 8 分

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	総計
学級数	2	2	2	2	2	2	12
児童数(計)	60	51	72	61	71	50	365
児童数(男)	30	29	34	36	34	24	187
児童数(女)	30	22	38	25	37	26	178

■教育目標と指導の重点

人間尊重の精神に基づいて自他の生命を尊び、社会の変化に対応して主体的に生きる力や生涯学び続けようとする意欲と態度をもち、国際感覚をそなえた、人間性豊かで心身ともに健康な児童を育成する。

○自ら学ぶ子ども

(知的好奇心に富み、積極的に学ぼうとする意欲をもち、自ら判断し主体的に行動できる子)

○たくましい子ども

(自ら心身を鍛え、最後までやり抜く強い意志をもち、困難を乗り越えてたくましく生きようとする子)

○思いやりのある子ども

(常にほがらかで、他人への思いやりの心や、優しさをもち、互いに理解し合って成長しようとする子)

■児童会の活動

「自分たちの学校を自分たちで創る」を基本として、児童会活動を展開する。

○委員会活動

4年生以上からなる代表委員会と5・6年生による各種委員会で、自分たちの学校生活の充実と向上のために諸問題を話し合い活動を計画し実施している。

○四六フレンドグループ

1～6年の全学年より縦割りのグループを編成し、四六フレンド集会、全校遠足でのグループ活動など。

■総合的な学習の時間の取組

子ども一人一人が主体的に活動するために、地域の教育力を積極的に取り入れ、体験的な学習や問題解決的な学習を通して、5つの学ぶ力(知る力、創る力、表す力、かかわる力、評価する力)を習得し、自らの生活をよりよくしていこうとする行動力や実践力を育成する。

地域を学ぶ「生活科・総合的な学習の時間」の6年間の枠組みを完成し、児童が探究する学びを実践する。

—低学年の視点—

自然とのつながり、身近なまちとのつながり

—中学年の視点—

地域とのつながり、福祉を通じた人とのつながり

—高学年の視点—

食とのつながり、地域の伝統や人とのつながり

〔校内研究〕

児童の主体的な学びの実現に向け、地域との関わりを通して、各学年の生活科・総合的な学習の時間の学習をもとに、研究を進めていきます。

「四六 プライド」

令和7年度 開校100周年

四谷第六小学校は、新宿御苑、神宮外苑、国立競技場等に囲まれ、校庭は天然の芝生の緑の多い自然環境に恵まれた学校です。本校は、地域協働学校として、地域人材、地域関係各機関と連携して、教育活動に取り組むとともに、GIGAスクール構想、オリンピック・パラリンピック教育の推進等、創意工夫ある教育を展開しています。また、併設幼稚園との連携も行い、幼小接続教育にも重点を置いています。

学校運営の軸として、「四六 プライド」を標語に掲げ、児童・職員・地域が誇りに思い、子どもたちが安心して通える学校・明日も行きたくなる学校を目指しています。

学校が好き・地域が好き

教科担任制・探究学習

全学年の教科担任制を実施し、より専門性の高い指導の充実を図っています。
また、全教科で探究学習に取り組んでいます。



天然芝の校庭

青々としげった天然芝で寝転んだり、思い切り体を動かしたりすることができます。



地域を学ぶ授業

地域の方をゲストティーチャーに迎え、地域のことや将来の夢、生き方など様々なことを学びます。



地域人材・施設の活用

投げ方教室・スケート体験・陸上イベントなど立地を生かし、またプロ選手もお呼びして体験を広げています。





▲学校ホームページ



所在地／新宿区新宿 1 - 22 - 1

電話／03 - 3353 - 8276

FAX／03 - 3353 - 8363

交通／・東京メトロ丸ノ内線 新宿御苑前駅下車徒歩 5 分

・都営新宿線 新宿三丁目駅下車徒歩 10 分

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	新苑学級	総計
学級数	1	1	1	1	1	1	3	9
児童数(計)	17	23	15	14	17	21	21	128
児童数(男)	6	11	10	7	11	10	13	68
児童数(女)	11	12	5	7	6	11	8	60

■教育目標と指導の重点

目指す子ども像

「仲間とともに、よく考えて行動できる子」

元気な子

- 健康・安全に気をつけ、体力を高める努力を続ける子
- あいさつや返事がどこでもできる子
- 周りからの注意をよく聞ける子

考える子

- 主体的に学び、確かな理解を積み上げる子
- 自分の考えや思いを互いに伝え合える子

ねばり強い子

- 集中して粘り強く学び、考えを深める子
- 仲間と協力してやりとげる子

思いやりのある子

- 相手の立場になって考え、やさしい心でかわれる子
- 自分がやられていやと思うことはしない子
- 互いの良さや頑張りを認め、喜び合える子

■児童会活動

本校では主にたてわり班活動と委員会活動を通して、よりよい学校づくりに取り組んでいます。

たてわり班活動では、1年生から6年生までが8グループに分かれて、遊び、給食、地域清掃など様々な活動をしています。そこでは学年を越えた交流によって多くのふれ合いが生まれています。また、6年生はリーダーとしての責任感を、その他の学年は協力することの大切さを学ぶ場でもあります。

委員会活動では、主に5・6年生で組織した7つの委

員会が活動しています。「花園プロジェクト」では児童会行事の企画や運営を、「集会委員会」では楽しい児童集会の企画や運営を、「放送委員会」では工夫した校内放送を、「図書委員会」では図書室の整頓や読書の楽しさの紹介を、「運動委員会」では丈夫な体づくりの紹介を、「環境美化委員会」では植物の栽培や校内美化を、「保健給食委員会」では健康な体づくりの紹介を、それぞれ子どもたちが主体的・計画的に進めています。

■総合的な学習の時間の取り組み

本校では、地域の人材・歴史・自然・文化などの資源を生かした体験活動を取り入れ、環境教育にも視点をあてながら、子どもたちが地域を知り、地域を愛し、地域をよりよくしていこうとする態度や実践力を伸ばす学習を進めています。

3年生は「わたしたちの町 新宿」で地域の商店街や施設の見学、安全マップ作りを通して地域のよさと、地域の人たちとのふれ合いを体験しています。4年生の「新宿内藤とうがらし」では、地域に伝わる伝統野菜に関心を持ち、生産に取り組んだ人々の思いを知り、伝える活動を行っています。5年生の「つなげよう御苑の杜」では、新宿御苑グリーンアカデミアクラブの人たちと一緒に新宿御苑の樹木の手入れや、清掃活動等に取り組み、地域に役立つ活動にチャレンジしています。6年生で行う「レッツ・トライ弟子入り」は、地域の協力を得て行うキャリア教育の一環で、社会参画の力を育んでいます。新苑学級では「しんえんまつりをひらこう」で児童の運営するおまつりに、他学年や地域の方々を招待し、交流と共生の場を創り出す活動を行っています。

開校30周年の節目に、仲間とともに、生きる力を身に付ける学校 花園小学校

学びがいのある学習活動の創造

日常の授業の充実による学力定着と、基礎体力の向上

- 個別最適な学びの推進と、ユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業を提供します。
- 算数では、3年生以上習熟度別学習で少人数グループによる指導を行い、タブレット端末などを活用しながら基礎的・基本的な内容を身に付け、学力の定着を図っています。
- 意図的・計画的な読書活動を大切にしています
- 基礎体力向上を目指し、身体を日常的に動かす環境づくりを行っています。



本が大好きになる環境
～学校図書館「にじのひろま」～

特色ある教育活動の推進

本物から学ぶ活動の充実と豊かな人間関係の醸成

- 地域のサッカークラブ「クリアソン新宿」による「花園ランニングスクール」を開設し、放課後の運動の場を提供しています。
- 専門家による「茶道体験」や、ゲストティーチャーや企業と連携した体験的な学習を展開しています。
- 小規模校のよさを生かしたたてわり班活動、異学年交流を通して豊かな心と温かい人間関係を育みます。



キャリア教育
～サッカー選手から学ぶ授業～

特別支援教育の推進

一人一人の教育ニーズに応じた指導・支援

- 子どもの実態や発達段階、特性などに応じて適切な指導・支援を行い、子どものよさや可能性を伸ばします。
- 様々な教育活動の場面において特別支援学級との交流及び共同学習を積極的に行い、互いに理解し合い、ともに助け合うことの大切さを学びます。
- スクールカウンセラーや関係機関と連携を図り、適切な支援内容について検討し、専門的なアドバイスを得て指導に生かします。



個に応じた指導
～チームティーチングの活用～

地域協働学校のよさを活かして

地域と共に創る学校教育

- 火曜日と金曜日の朝は、地域の方の見守りの中、広いスクールパークで楽しく遊ぶことができます。
- 「花園サマーセミナー」やキャリア教育「レッツトライ弟子入り」など地域と連携した多様な学びの場をつくっています。
- 地域協働学校運営委員による「朝会講話」を実施しています。



地域の方と共に
～朝遊び～



▲学校ホームページ



所在地／新宿区大久保1-1-21

電話／03-3205-9506

FAX／03-3205-9529

交通／JR山手線 新大久保駅 徒歩8分

西武新宿線 西武新宿駅 徒歩8分

都営大江戸線 東新宿駅 徒歩4分

東京メトロ副都心線 東新宿駅 徒歩3分

「学年のページ」を
月1回更新しています。

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	国際学級(自校通級)※	総計(※は含まず)
学級数	1	1	1	1	1	1	(2)	6
児童数(計)	23	25	24	29	18	28	27	147
児童数(男)	15	14	12	15	11	14	17	81
児童数(女)	8	11	12	14	7	14	10	66

※通常の学級に在籍している者のうち国際学級に通っている数

■教育目標と指導の重点

国際的視野に立って世界に貢献できる、人間性豊かで、心身ともにたくましい大久保小の子どもを育てるため、次の目標を定める。

- 1 考えて、活動する子〔重点目標〕
- 2 明るく、思いやりのある子
- 3 元気で、ねばり強い子

■児童会の活動

学校の一員としての自覚を高めることによって、自主的・社会的な生活態度を身に付け、一人一人が自分らしく成長することを目指しています。

異学年集団活動(たてわり班)

清掃活動、集会活動、交流給食などの交流を年間を通して、継続的に行っています。異学年交流の充実を図ることで信頼関係を築き、豊かな人間関係を育みます。

児童集会

1年生を迎える会や6年生を送る会では、各学年の発達段階に応じた楽しい発表が続き、全員で楽しんでいます。12月の開校記念日近くには、大久保小学校の開校にちなんだ集会を行って、大久保小学校を大切に思う気持ちを育みます。

■総合的な学習の時間の取り組み

◇地域を生かした学年の発達段階に応じたテーマ◇

【第3学年】・地域・国際理解

単元例:「安全マップをつくろう」

「小泉八雲さんに会おう」

【第4学年】・生産・食・国際理解

単元例:「内藤とうがらしを育てよう」

「心と体のバリアフリー」

【第5学年】・環境・国際理解

単元例:「大久保環境プロジェクト」「ともに生きる」

「世界の環境対策を学ぶ」

【第6学年】・地域参画・国際理解(日本の伝統文化)

単元例:地域とコラボ!「大久保つつじを守り広めよう!」

地域の期待!「大久保太鼓を守り抜く!」「移動

教室を充実させよう」

◇指導方法の工夫◇

- ・保護者やスクールコーディネーター、地域ボランティア、多くの専門家の協力を得て指導を行っています。
- ・比較・分類したり、関係付けたりして考え、話し合い、表現するための多様な思考ツールを活用しています。
- ・課題設定→情報収集→整理・分析→表現という探究的な学習の過程を大切にしています。

■日本語国際学級設置校

- ・児童一人一人の個性や文化を尊重し、国際理解の視点に立った心豊かな学校生活を送ることができるようにします。
- ・日本語の理解力・表現力を身に付けて、教科の学習や行事に参加できるようにします。

大久保の教育活動

児童一人一人を大切にした学校、それが大久保小です！

- ・担任、副担任、スクールカウンセラー等と連携し、学校全体で児童理解を深めています。
- ・日本語国際学級では、日本語に不安のある児童に対して細やかな日本語指導を行っています。
- ・特別支援教育コーディネーターを中心として、専門家チームや特別支援教育専門員、巡回相談員等との連携を密にしながら、個に応じた指導を行っています。

考えて活動する子の育成



- ・確かな学力の向上へ
「分かる・考える・できる」授業づくりの工夫
(副担任制・習熟度別学習・チームティーチング・ICTの活用・ベーシックタイム・日本語国際学級)
- ・確かな言葉の力(コミュニケーションの力、思考力・判断力・表現力、自己を見つめる力等)の向上

明るく思いやりのある子の育成

- ・豊かな体験活動
(栽培活動・奉仕活動・自然と触れ合う活動・福祉体験等)
- ・伝統文化に親しむ活動(茶道教室等)
- ・国際理解を深める活動(日本語タイム等)
- ・人とのかかわり
(地域協働学校・外部教育力の活用)



元気でねばり強い子の育成



- ・健康な体と健康な心の育成(なわとび週間、マラソン週間、適度な運動量、スポーツギネス新宿の活用)
- ・基本的な生活習慣の定着
(早寝・早起き・朝ごはん、元気なあいさつ、自分から)
(おはようございます、ありがとうございます、しつれいします、すいません、さようなら【オアシスさ】)

地域の人々との交流

【生活科、総合的な学習の時間を中心とした学習】
～地域協働学校運営委員との連携～
大久保つつじ挿し芽会、内藤とうがらしの栽培
みどりのカーテン、公園サポーターとの活動
(花植え)、二言語の読み聞かせ(朝学習)
昔遊び・町探検





▲学校ホームページ



所在地／新宿区新宿6-14-2

電話／03-3358-3769

FAX／03-3358-3775

交通／都営大江戸線・副都心線 東新宿駅下車 徒歩5分

都営新宿線・東京メトロ丸ノ内線 新宿三丁目駅下車 徒歩10分

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	総計
学級数	1	2	1	1	1	1	7
児童数(計)	27	36	29	33	29	29	183
児童数(男)	14	23	16	17	11	15	96
児童数(女)	13	13	13	16	18	14	87

■教育目標と指導の重点

人権尊重の精神に基づき、生涯にわたる人間形成の基礎を養い、国際社会に貢献できる心豊かな健康でたくましい子どもを育てるために、次の目標を定める。

○よく考え工夫する子

(学習方法を身に付けて自分で課題を解決する力の育成)

○明るく元気な子

(健康でたくましく自ら課題を追求し、何事にも意欲的に取り組む力の育成)

○仲よく助け合う子

(命や自然の尊さが分かり、仲間と優しく助け合う生きる力の育成)

指導の重点

- ・主体的・対話的で深い学びの実現を図り、「なぜ、どのように、何ができるようになるか」が明確になる質の高い授業を目指します。
- ・GIGA スクール構想に基づき、タブレット端末を活用し、個別最適な学びを推進します。
- ・自分もよくて、みんなもよい個と集団にします。そして、学級集団を互いに好影響を与え合う集団にします。
- ・人権尊重の精神と自己有用感に基づく自己肯定感や自尊感情の向上を推進します。
- ・地域協働学校運営協議会を柱として、保護者、地域、関係諸機関との相互理解と連携を図ります。
- ・児童がウェルビーイングを実感できる学校の実現を図ります。

■児童会の活動

学校の全児童をもって組織する児童会において、学校生活の充実と向上のための諸問題について話し合い、協力してその解決を図る活動を行います。

- ①代表委員会活動 運動会や音楽会等のスローガン作りや学校の諸問題についての話し合いを行います。
- ②委員会活動 放送 集会 代表 図書 保健・給食運動 の6委員会で構成されています。計画や運営を主として高学年が行います。
- ③児童会集会活動 ロング集会(1年生を迎える会、6年生を送る会)やショート集会(集団ゲーム、委員会発表等)があります。
- ④異年齢集団による交流活動(仲よしタイム、グリーンアドベンチャー 等)も盛んです。

■総合的な学習の時間の取り組み

- 自然体験、奉仕活動などの社会体験、ものづくりや生産活動等の体験的な学習や、問題解決的な学習活動を通して、学び方・生き方を身に付けさせます。
- 国際理解、学校・地域、健康・福祉、環境、情報を、それぞれの学年ごとに応じて重点をきめて、地域の教材を積極的に取り入れるとともにスクール・コーディネーターを通して地域の人材を活用し、子どもの興味関心に基づく創意ある活動を推進します。
- 国際理解教育において、外国の方を招き、多様な文化の理解に努めます。自国の伝統や文化に対する知識や理解を深め、郷土を愛する心や他国の文化の違いを認め合い、生きていく資質と能力を育てます。

家庭・地域との共育「児童も保護者も教職員も地域もウェルビーイングな学校」ー開校103周年ー

確かな学力を育てます

- 確かな学力の定着に向けて、算数においては3年生以上で少人数指導を行い、他の教科についても（専科教員・学習指導支援員による）複数指導体制を整え、一人一人の学び合いを大切にしたい個に応じた指導を重視していきます。
- 学びのユニバーサルデザイン（UDL）を推進し、みんなが分かりやすい授業を目指します。
- 一人一台端末を活用し、個別最適な学びを推進し、主体的・対話的な学び合いを通して、協働的な学びを推進します。
- 体験的な学習・問題解決学習を展開し、自ら学ぶ意欲を育て、思考力・判断力・表現力を高めます。



- 図書ボランティアによる読み聞かせ・図書館スタッフによる読書環境の整備・地域の図書館との連携を通して読書活動の推進を図ります。子どもの豊かな情操を育むとともに学習の基盤になる言語能力や読解力を身に付けさせます。
- デジタルドリルを活用し、漢字や計算の繰り返し学習、読書活動を通して、基礎学力の定着を図っていきます。
- 保護者会・個人面談では、学力調査や意識調査の結果、東京ベーシックドリル等を活用して「学習の達成度」「学習の取り組み方」を評価し、個々の学習目標を達成できるように家庭と共通理解を深め、指導の工夫・改善に努めます。

心も体も健全な子を育てます

- たてわり班での活動（仲よしタイム・グリーンアドベンチャー等）を行い、異学年で一緒に遊んだり活動したりする中で、互いに協力する態度を育てます。
- 地域の一員としての意識や社会性を培います。（開校記念集会・みんなで働く日）
- 野菜やみどりのカーテン等の栽培活動・昆虫や魚等の飼育活動を通して、動植物を愛する優しい心や命を大切にする気持ちを育てます。
- 東京 2025 デフリンピック大会の開催を契機として、聴覚障害者やデフリンピックに関する学びの充実を図ります。
- 天然芝の校庭で、のびのびと運動することができます。そして、けがの防止・体力向上を図ります。



違いを認め、尊重し合える豊かな心を育てます



- 国際交流学習で外国の方との触れ合いを行います。コミュニケーション能力を育成し、異なった言葉や文化に対する知識や理解を深め、互いに認め合い尊重し合おうとする資質や能力を育てます。
- 特別支援教育を充実させます。個別支援計画による意図的・計画的な子どものニーズに合った指導・支援を行います。
- まなびの教室（特別支援教室）では、その子どもにあった学び方で教えることを推進します。子ども同士が学び方の違いを当たり前のこととして受け止め、それぞれに合った学びを支援していきます。



▲学校ホームページ



所在地／新宿区百人町 2 - 1 - 38

電 話／ 03 - 3205 - 9507

FAX／ 03 - 3205 - 9572

交 通／ JR 山手線 新大久保駅 徒歩5分

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	総計
学級数	2	2	2	2	2	3	13
児童数(計)	62	66	61	58	66	78	391
児童数(男)	34	30	29	28	33	37	191
児童数(女)	28	36	32	30	33	41	200

■教育目標と指導の重点

人間尊重の精神を基調に国際的視野に立ち、世界に貢献できる、人間性豊かな心身ともにたくましい人間を育成するために、次の目標を設定します。

- 自ら学び行動する子ども
- 強い心とじょうぶな体の子ども
- ルールを守り仲良く力を合わせる子ども
- 心の美しい思いやりのある子ども

【目指す学校の姿】

- ◎児童自ら目標を立て、根気強く取り組み、すすんで生活や学習を改善していけるよう自主性を育む。
- ◎すべての教育活動を通して子どもたちに必要な資質・能力（「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「学びに向かう力・人間性等の涵養」）を育成する。
- ◎偏見や差別のない、子供同士の温かい人間関係を構築する。

■児童会の活動

児童の自主的な活動を大切にし、よりよい生活や人間関係を築くために、一人一人にすすんで行動する力を育むことのできる指導をしています。

計画委員会では、運動会等のスローガンやポスターを作り、学校行事を主体的に捉え、自らすすんで活動しています。あいさつ運動やユニセフ募金などにも積極的に取り組んでいます。

児童集会では、各委員会の特色を生かした活動発表をしたり、全校児童が学年を超えて触れ合えるようゲーム等を行ったりしています。

また、海城中学・高等学校、戸山高等学校、保善高等学校の生徒会と連携し、夏のワクワクスクールを行っています。

■総合的な学習の時間の取り組み

3年生

【戸山たんけんたいが行く】【命をいただくということ】

【やさしさいっぱいといどけ隊】

自分たちの住む「大久保・百人町」地域に目を向け、身近な自然や施設に興味をもつと共に、共に地域で暮らす人々にも関心をもつことで、自ら課題を見付け、調べる活動を行っています。地域の方々と仲良くなる活動も積極的に行っています。

4年生

【地域安全マップを作ろう】

【ゴミレンジャー研究・発信】

自分たちの生活について、安全・衛生・環境の3つのことについて自ら課題を決めて調べる活動を行っています。また、社会にはいろいろな職業や生き方があることを知り、社会の一員としての自覚をもち、社会の発展に貢献しようとする意欲を高めていきます。(キャリア教育)

5年生

【わたしたちの町・百人町・大久保】【心のバリアフリーを目指して】

【最高学年に向けて】

身近な環境や福祉に関わる問題をもとに、今日的な課題について、主体的に取り組み、解決に向けて追究しています。

6年生

【河口湖探検隊】【多文化共生】

【私たちの卒業に向けて】

様々な国の人々と共に生きる時代を迎え、外国の文化や日本の文化を尊重するとともに、共生の課題を追究していきます。

※全学年の共通課題

カリキュラムマネジメントを推進し、教科横断的な学習(SDGs等)に取り組めます。

子どもにとって「通ってよかった戸山小」
保護者にとって「通わせてよかった戸山小」
地域にとって「地域が誇れる戸山小」

子どもが主役の学校

確かな学力の向上

①確かな学力を付ける学校

- ・全教育活動を通して、思考力・判断力を養います。
- ・戸山スタンダード「課題（めあて）－解決－まとめ（振り返り）」を意識した学習指導を展開します。

②児童の「学びたい」を叶える学校

- ・タブレットを用いて、調べ学習や学び合う場面を設定します。
- ・タブレットを使用した家庭学習を推進し、学習習慣の定着を図ります。

③全教科における ICT 機器の活用促進

- ・指導と一体化した情報活用能力を育成します。



タブレット端末を課題解決に活用しています。

人権教育の推進

①いじめを許さない学校

- ・計画的に面談を行い、早期発見、早期対応をします。
- ・いじめが発生した場合は、全校体制で組織的に解決にあたります。
- ・法教育やアンガーマネジメントを取り入れた授業を実施します。

②多文化・多様性の理解

- ・特別の教科「道徳」をはじめ、全教育活動において心の教育の推進に取り組みます。
- ・「ダイバーシティ」を認める意識を育成し、子どもたちの個性を引き出し、伸ばします。



「考え、議論する」道徳授業を実践しています。

特別支援教育の推進

①教室のユニバーサルデザイン化

- ・授業に集中できる環境を整備します。
- ・誰でも分かる板書や掲示物を工夫します。

②特別支援教育の充実

- ・まなびの教室拠点校です。児童一人一人が自分に合った学び方を身に付けます。
- ・まなびの教室担当教員による校内研修や臨床心理士による専門性向上研修を実施し、全教員が児童個々の成長に合わせた指導ができるよう、学びを深めます。





▲学校ホームページ



所在地／新宿区西早稲田3-10-12

電話／03-3205-9508

FAX／03-3205-9648

交通／JR山手線・西武新宿線・東京メトロ東西線 高田馬場駅 徒歩15分

東京メトロ東西線 早稲田駅 徒歩12分

東京メトロ副都心線 西早稲田駅 徒歩8分

都電荒川線 面影橋 徒歩3分

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	総計
学級数	2	3	3	3	2	2	15
児童数(計)	56	79	75	74	69	71	424
児童数(男)	31	42	40	26	42	41	222
児童数(女)	25	37	35	48	27	30	202

■教育目標と指導の重点

人間尊重の精神に基づき、国際社会の一員としての自覚と連帯意識をもち、たくましく心豊かに生きる児童の育成を目指します。

- 考える子…正しく判断し、創意工夫する子(創造)
- 協力する子…きまりを守り、思いやりのある子(協働)
- 強い子…じょうぶで、ねばり強い子(自立)

☆目指す学校

- ◇子ども一人ひとりが主役として活躍の場がある学校
…一人ひとりのよさを認めます。
- ◇楽しく、力のつく学校…楽しさが子どもの可能性を開きます。授業改善で生きる力を育みます。
- ◇いじめのない安全・安心な学校…人権第一・安全第一・学校事故ゼロを目指します。
- ◇保護者や地域に信頼される学校…関わりを強固にし、子ども第一の開かれた学校を目指します。
- ◇学びの連続性を高める学校…近隣保育園・幼稚園・中学校との連携を進めます。

■児童会の活動

児童会の活動を通し、楽しく豊かな学校生活や望ましい人間関係を築こうとする自主的・実践的な態度を育てます。

＜青少年赤十字の活動＞

平成27年度より青少年赤十字に加盟し、「気付き、考え、実行する」を目標に活動しています。募金活動等を通じて、思いやりの心を育てるとともに、社会や世界の問題に関心をもち、自分たちにできることを考え、実践しようとする心情を育てます。

＜たてわり班活動＞

年間を通し、1年生から6年生までの全学年で構成される15のたてわり班を組織し、様々な場面で活動します。その中で、上級生は下級生に対し「思いやり」を、下級生は上級生に対し「あこがれ」の気持ちを大きくしていきます。

たてわり班活動が続けていくことは、集団の中で自分の役割を果たし、協力することの大切さやよさを実感するよい機会となります。

■総合的な学習の時間の取り組み

3年生「まちのすてきをつたえよう」

学区の歴史、商店街の魅力、安全を守る仕事について調べるグループに分かれ、フィールドワークやインタビュー、様々な資料を活用するなどして調べます。発見した「すてき」は報告し合い、地域の理解を深めます。

4年生「『逃げ地図』をつくろう」

早稲田大学の研究室や学区にある町会等と連携し、実際に学校周辺を歩いて「逃げ地図」をつくります。危険な場所の発見や目的地までの所要時間の計算など、地域防災に対する見方を広げます。

5年生「戸ーエコプロジェクト」

自分の身の回りや興味ある環境問題を追究していく活動をとおして、「環境」について一人ひとりが捉え直し、考えを深めていきます。

6年生「先輩、地域の方に学ぶ」

様々な仕事に就いている方をゲストティーチャーとしてお招きし、その仕事の実際ややりがい、今後の展望などをご講演いただきます。子どもたちは「仕事」についての視野を広げ、自分の将来を見つめ直します。

区内で最も古い歴史と伝統 ー開校149周年ー

自立・協働・創造の 世界市民をはぐくむ チーム戸一！**学習指導の充実**

☆確かな学力の定着

- ◇習熟度別指導(算数)による少人数指導
- ◇プログラミング教育の推進
- ◇ICT機器の活用による分かりやすい授業
- ◇読書活動の充実（朝読書・読み聞かせ・公共図書館との連携、図書ボランティアや図書館支援員、図書スタッフによる支援）
- ◇地域の教育資源を生かした、生活科・総合的な学習の時間による体験活動、言語活動の充実
- ◇外国語(活動)の充実（ALT全学年配置、外国語専科講師配置）

☆学びの連続性

- ◇新入学児童向けスタートカリキュラムの実施
- ◇近隣幼稚園・保育園・中学校との連携、交流

**豊かな心の育成**

- ◇「まなびの教室」（特別支援教室 月・火曜日巡回）
- ◇特別支援教育の充実（特別支援教育推進員やスクールカウンセラーなど、多彩な職員で連携）
- ◇たてわり班活動の充実（異学年交流推進）
- ◇全校あいさつ運動の実施
- ◇「戸ースタндарт」による規範意識の醸成
- ◇国際理解教育の推進（ミャンマー児童の学校生活体験）
- ◇音楽教育の充実（全学年発表集会）
- ◇道徳授業、道徳授業地区公開講座の充実
- ◇「ふれあい月間」「いじめは許されない・許さない」指導の徹底
- ◇全校地域清掃

**健康・安全・体力の向上**

- ◇不審者訓練、起震車体験、集団下校、交通安全教室の実施
- ◇運動朝会、なわとび・かけるタイム、「といちンピック」の実施
- ◇アスリートから学ぶスポーツのすばらしさ・本物体験
- ◇栄養士による食育指導、特色ある給食（世界・日本の郷土料理、本に登場する料理など）
- ◇養護教諭による「心と体」の学習
- ◇歯科衛生士専門学校による「歯」の学習
- ◇「SNS戸ルール」の定着

**地域の特色や教育力を生かした体験活動の充実**

- ◇昔あそび体験
- ◇地域へのあさがお配り
- ◇環境問題学習、みどりのカーテン
- ◇戸塚雛子保存会との交流
- ◇吹奏楽団の地域行事への参加
- ◇染物体験
- ◇わくどきサマーセミナー
（夏休みに保護者・地域の方々が様々な講座を開催）





▲学校ホームページ



所在地／東京都新宿区高田馬場1-25-21

電話／03-3205-9509

FAX／03-3205-9734

交通／JR山手線・西武新宿線・東京メトロ東西線 高田馬場駅 徒歩2分

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	総計
学級数	2	2	2	2	2	2	12
児童数(計)	49	44	53	47	61	51	305
児童数(男)	29	29	36	21	34	25	174
児童数(女)	20	15	17	26	27	26	131

■教育目標と指導の重点

「教育目標」

- よく考える子ども
- 思いやりのある子ども
- 強くたくましい子ども

「指導の重点」

- たてわり班活動・併設幼稚園児との交流活動等を通して、人と人との温かい関わりを体験させ、児童の豊かな心の育成を図る。また、生活指導全体会や生活指導夕会等で問題の「未然防止」「早期発見」「早期解決」「丁寧な事後指導」に努める。その他、外部支援員の協力も得て教職員全員で児童の健やかな成長を支援する。
- 基礎的・基本的内容の定着を図るとともに、児童一人一人が問題意識をもち、主体的・対話的に学習が進められるよう、算数科における少人数指導、理科におけるチームティーチングを行い、個に応じた支援のもと、主体的・対話的で深い学びが実現できるよう授業改善に努める。
- 研究主題を「学ぶ楽しさを味わい、自ら学ぶ児童を育てる授業の工夫ー基礎基本を身に付け生かす算数的活動を通してー」と設定し、児童の学びたい気持ちを喚起し、「児童の姿を根拠にした授業実践」に基づく研究活動を深めていく。考える力の土台となる基礎基本をタブレット端末の活用を通して定着を図り、皆で課題を解決する過程で多様な見方・考え方を働かせ、新しい知識を創造する力を養っていく。

■児童会の活動

- 学校行事や集会活動等を通して、本校児童としての

自覚と所属意識を高め、友達と協力してよりよい学校生活を築こうとする、自主的で実践的な態度を育てる。

- 学級活動を基本に児童一人一人が活躍できる場を保障し、自分のよさを表現するとともに、自治的・自発的な活動を通して集団への所属感と仲間との連帯感が深められるよう、学級生活の充実を図る。

■総合的な学習の時間の取り組み

- 児童が自らの興味関心に基づき、自ら問題を発見できる問題解決能力を育成し、解決に向け主体的・意欲的に取り組んでいけるようにする。
 - ①問題解決的な学習を進めるための時間を保障する。
 - ②学習テーマに応じた体験的な学習を適切に取り入れ、個に応じた指導と成就感のある学習を展開する。
 - ③学習時あるいは学習後の成果をもとに、地域への働きかけを通して、地域の良さを知り、地域の一員としての自覚と、共生感を育成する。
 - ④学習材や資料の蓄積を行うとともに、スクールコーディネーターの協力のもと、地域人材の発掘を積極的に推進し、主体的かつ探究的に学ぶ。
 - ⑤地域協働学校運営協議会委員の支援による、戸二農園での栽培活動を体験する。

《総合的な学習の時間の主な活動事例》

- 3年「高田馬場たんけんたい」
- 4年「心を通わせよう！ユニバーサルデザイン」
- 5年「日本の“食”調査隊」
- 6年「高田馬場のまちづくりについて考えよう～地域活性化プロジェクト～」

《各学年共通単元》

「戸二農園グリーン大作戦」

生き生きと笑顔で「学び合う」学校

地域に愛され、支えられてきた戸塚第二小学校は、平成30年度に100周年を迎え、令和7年度は107年目となりました。これまでの歴史と伝統を継承し、地域を愛し、未来を担う児童の育成に努めていきます。

児童の主体的・対話的な学びを保障し、一人一人の学びたい気持ちを育み、叶える教育活動を推進しています。この主体的な学びを支えるにあたり、友達と関わり合う力である「豊かな人間性」や、困難に直面しても粘り強く取り組む「たくましさ」も意図的・計画的な指導を通して育み、個に応じた学びに深まりをもたせられるようにしています。そして、みんなが生き生きと笑顔で学び合う学校生活を送ることができるように力を尽くします。



◇よく考える子ども＜確かな学力の育成＞

～主体的・対話的で深い学びの実現～

- 学力調査の結果分析に基づく、学力向上重点プランの作成
- デジタルドリルを活用した基礎学力の向上・定着
- 「考える力」を高める問題解決型学習の推進
- 習熟度別算数少人数指導、放課後学習教室などによる個に応じた指導の充実
- タブレット端末や電子黒板を効果的に活用した児童の意見交流
- 学習規律の確立と家庭学習の習慣化



◇思いやりのある子ども＜豊かな人間性の育成＞

～自分も相手も大切にする心の育成～

- アンケートやhyper-QUの実施と分析・考察によるいじめの未然防止・早期発見・早期対応・丁寧な事後指導
- 「まなびの教室」拠点校としての利点を生かした特別支援教育の推進・充実
- 道徳の授業を要とした人権教育の推進
- 併設幼稚園との計画的及び日常的な交流活動
- たてわり班活動やクラブ活動など異学年交流の充実



◇強くたくましい子ども＜健やかな体づくり＞

～体を動かす楽しさの実感と最後までやり抜く強い心の育成～

- 「T2パワー」（短なわ）の計画的な実施、「戸二リンピック」への挑戦
- 体力テストの実施・分析・考察を踏まえた日常の体育学習の充実
- 食育、健康教育の充実
- 安全教育・安全指導の充実と防災意識の育成
- 家庭との連携「早寝・早起き・朝ごはん」の習慣化



◇家庭・地域との連携＜町の泉の学校 町の光の学校＞

～伝統を受け継ぎ、地域を愛する心の育成～

- 地域の方とともに行う全校児童一人一本の大根栽培（戸二農園）
- 地域の伝統を受け継ぐ体験型授業（藍染め体験、戸二小太鼓など）
- 読書活動の充実「読み聞かせ・戸二シアター」（図書ボランティア）
- PTAとの連携（地域の清掃活動、鏡もちづくり、早朝ランニングなど）





▲学校ホームページ



所在地／新宿区高田馬場3-18-21

電話／03-3227-2101

FAX／03-3227-1942

交通／JR山手線、東京メトロ東西線、西武新宿線 高田馬場駅より徒歩10分
西武新宿線 下落合駅より徒歩5分

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	総計
学級数	2	2	2	2	1	2	11
児童数(計)	44	39	53	50	33	45	264
児童数(男)	26	19	31	27	16	16	135
児童数(女)	18	20	22	23	17	29	129

■教育目標と指導の重点

☆教育目標

- よく考える子
- 思いやりのある子
- たくましい子

☆指導の重点

- ①子どもたちが主体的・対話的に学ぶ授業
- ②思いやりや感謝の気持ち、礼儀やマナーを大切に
した指導体制
- ③元気いっぱい、伸びやかさとたくましさ考えた
学校生活
- ④協働することで築く保護者・地域との信頼関係

■児童会の活動

望ましい集団活動を通して、心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図り、よりよい生活や人間関係を築く自主的、実践的な態度を育てるとともに、自己を生かす能力を養う。

○代表委員会活動(4年以上の学級代表)

- ・学校行事等の運営
- ・学校をより良くするための活動

○委員会活動(5・6年全員)

- ・毎月第1月曜日の定例活動と常時活動
〈代表、図書、集会、保健・給食、運動、放送〉

○児童会集会活動

- ・1年生を迎える会

- ・児童集会
- ・募金や被災地支援活動
- ・6年生を送る会

○クラブ活動

毎週月曜日(年間16時間)

〈スポーツ、アート、科学、料理・家庭、
パソコン、ボードゲーム/昔遊び〉

■総合的な学習の取り組み

- 自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する力を育てる。
- 学び方やものの考え方を身に付けられるようにする。
- 問題の解決や探究活動に、主体的・対話的に取り組む態度を育てる。
- 自己の考え方を表現し合い、高める力を伸ばす。
- 自己の生き方を考えることができるようにする。

〈活動例〉

創立100周年(令和7年度)をお祝いしよう

生命:「育てよう 役立てよう」

福祉:「スポーツの力でみんなに笑顔を」

環境:「神田川ファンクラブとエコアクション」

伝統文化:「日本の文化に親しもう」

職業:「働かってなんだろう」

環境・福祉:「高田馬場をよりよくするために」

情報:「パソコンに親しもう」

確かな学力の育成



- ・主体性を育む授業
- ・算数習熟度別指導
- ・学習スタンダード
- ・朝学習 ・朝読書
- ・外部教育力の活用
- ・対話を重視した活動
- ・各教科チームティーチング
- ・ICTの活用
- ・放課後学習教室
- ・家庭との連携

・あいさつ運動
・「神田川ファンクラブ」での環境学習
・読み聞かせ
・高齢者との交流
・近隣幼稚園、保育園、子ども園との交流

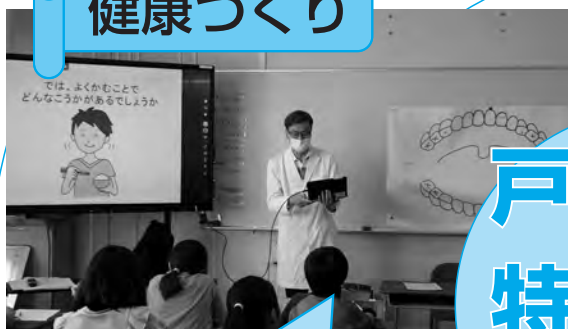
心を育てる



- ・美術鑑賞教室
- ・音楽鑑賞教室
- ・戸三ギャラリー
- ・吹奏楽団（課外活動）
- ・消防写生会
- ・演劇鑑賞教室

芸術性を育む

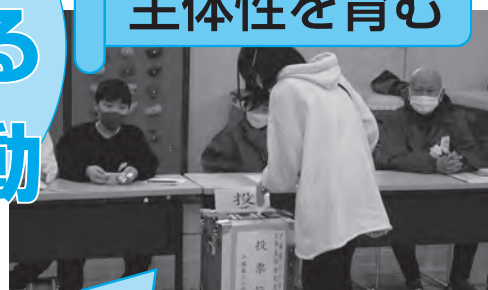
健康づくり



- ・業間体育
- ・持久走旬間
- ・走り方教室
- ・歯磨き指導
- ・校内長なわ大会
- ・なわとび旬間
- ・野球教室
- ・食育
- ・学校保健委員会

戸三小の 特色ある 教育活動

主体性を育む



国際感覚を高める



- ・避難訓練
- ・交通・自転車安全教室
- ・子どもを守る学校と地域の会との連携
- ・着衣泳
- ・防災教室
- ・セーフティ教室



・外国語・外国語活動
・日本の伝統文化学習
・オリンピック・パラリンピック教育
・モンゴル文化体験

- ・総合的な学習の時間
- ・遠足
- ・校外学習
- ・特色ある行事
- ・募金活動
- ・保育園、幼稚園、子ども園との交流授業
- ・豊かな体験活動
- ・主権者教育（模擬選挙）
- ・クラブ活動
- ・委員会活動

個に応じた指導

- ・全校体制で特別支援教育を推進しています。
- ・「まなびの教室」を設置しています。
- ・算数習熟度別指導や、各教科でTTを実施しています。
- ・放課後学習教室（希望者）を行っています。

保護者・地域との連携

- ・地域協働学校を核として、地域や保護者と連携した教育活動を展開しています。
- ・外部の教育力を生かした学習活動を行っています。

安全で安心な学校づくり



▲学校ホームページ



所在地／新宿区中落合2-13-27
電 話／03-3565-0940
F A X／03-3565-0957
交 通／西武新宿線 下落合駅 徒歩8分
都営大江戸線 中井駅 徒歩13分

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	総計
学級数	3	3	3	3	3	3	18
児童数(計)	99	87	90	98	90	87	551
児童数(男)	51	37	41	52	49	41	271
児童数(女)	48	50	49	46	41	46	280

■教育目標と指導の重点

人権尊重の精神をもとに、児童一人ひとりを生かし、心身ともに健やかで、自主的精神に満ち、広く国際社会に貢献できる児童の育成を目指す。

○深く考え、ねばり強く努力する子ども(知)

○思いやりがあり、人と協力する子ども(徳)

○健康でたくましい体力・気力のある子ども(体)

- (1) 教科担任制や少人数指導を通して、確かな学力の定着を図るとともに、主体的・対話的で深い学びにつながる協働的・探究的な学習を推進する。
- (2) 異学年集団での活動、地域の自然や人々との触れ合いを通して、思いやりや信頼感を育むとともに規範意識を培う。
- (3) 多様な価値を認め、他者理解を深める教育活動を推進するとともに、特別な支援を要する児童について、まなびの教室での指導の充実及び関係機関等と連携を図る。
- (4) 身体を動かすことの楽しさを実感するとともに、自分の体力について興味・関心をもち、無理なく持続的に体力の向上を図ることができるようにする。
- (5) 安全教育を推進し、児童が自ら危険を予測し、回避する能力や互助の能力を身に着けられるようにする。
- (6) 地域協働学校として、「地域・家庭・学校がともに子どもを育てる」という意識を高くもち、子どもたちのためにスクラムを組み、豊かな学びの環境づくりを推進する。

■児童会の活動

「たてわり班活動」

温かい人間関係、協力する心、思いやりのある心を育むために、全校児童を18班に分けて活動を行う。

たてわり班集会では、6年生がリーダーとなって異学年の子どもたち同士でさまざまな遊びを行う。

■総合的な学習の時間の取り組み

探究的な見方・考え方を働かせ、実社会や実生活に関わる横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を次のとおり育成することを目指している。

【単元例】

3年生

落一たんていだん 百人染め …… 地域・伝統文化
他国について調べよう …… 国際理解
プログラミングのひみつを探ろう(プログラミング)・情報

4年生

落一安全マップを作ろう …… 地域
伝えよう日本の伝統文化 …… 伝統文化
ふくして なあに(障害者スポーツ体験)・福祉・健康
コンピューターのひみつを探ろう(プログラミング)・情報

5年生

落一エコプロジェクト …… 環境
プログラミングにチャレンジ(プログラミング)・情報

6年生

落合の町・日光の町 …… 地域
落一情報プロジェクト(プログラミング)・地域参画
ドリームマップ作り(キャリア教育)・キャリア(職業)

温かいかわりの中で、知と体を育む

温かいかわりを育む教育活動

児童と教師、児童相互の温かいかわりを築き、自他の生命や存在を大切にする心情と態度、コミュニケーション能力の素地を育成する。

異学年との交流活動



〈六年生と一年生の交流〉



〈兄弟学年での遠足〉



〈あきさがし〉

充実した学校行事

〈社会科見学〉



〈展覧会ワークショップ〉

〈女神湖移動教室〉

地域の協力による体験学習



〈藍染め体験〉



〈消防署（落合出張所）見学〉



〈ドリームマップ作り：キャリア教育〉

豊かな知と体を育む教育活動

一人ひとりの特性に応じた指導・支援



ICT を活用した授業（プログラミング）



個に応じた指導や支援を充実させるICTの活用、教科担任制、より専門性の高い教師による指導など、豊かな知と体を育む教育活動を行う。

基礎・基本を大切にした少人数授業と教師の専門性をいがした教科担任制



英語担当教員・専任講師による授業





▲学校ホームページ



所在地／新宿区上落合2-10-23
電 話／03-3227-2102
F A X／03-3227-1943
交 通／東京メトロ東西線 落合駅 徒歩4分
都営大江戸線 中井駅 徒歩5分
西武新宿線 中井駅 徒歩6分

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	若葉学級	総計
学級数	2	2	2	2	2	2	5	17
児童数(計)	48	57	64	68	55	62	37	391
児童数(男)	21	34	35	33	31	30	26	210
児童数(女)	27	23	29	35	24	32	11	181

■教育目標と指導の重点

人間尊重の精神を基本とし、落合第二小学校および新宿区の児童としての自覚と誇りをもち、国際的視野にたつ人間の育成を目指し、次の児童像の実現に努める。

- ◎深く考える子ども
- ◎心豊かな明るい子ども
- ◎進んで行動できる子ども
- ◎体を大切にする子ども

■児童会の活動

子どもの主体的、自発的な活動を通して、協調性の育成と学校生活の充実と向上を図ることを目的に、様々な活動に取り組んでいます。

「落二まつり」、「6年生を送る会」などの全校で取り組む大きな集会があります。

また、委員会活動は放送、環境、運動、図書、健康、集会、代表の7つがあり、子どもがいろいろなアイデアを出し合いながら進んで活動に取り組んでいます。

■総合的な学習の時間の取り組み

◎3年生は「落合のまち 大すき!!」という活動を行います。落合のまちを知る→調べる→体験する→発信するという学習を通して、落合の自然や伝統、地域の方々のすばらしさを実感していきます。

◎4年生は、上落合東部長寿会の方々から「花いっぱい運動」の活動を引き継いでいます。

『上落合が花の香のただよう町としてあり続けるように』という願いを込めて、年間2回、春と秋に上落中通りのプランターに花を植える活動を行います。

◎5年生は、JA山形おきたま青年部の方々の御指導を受け、自ら課題を解決しながら、地域の方々と作った校内の水田で稲作体験をしています。もみを苗床にまくところから始め、雨水を活用した水の管理、草取り、害虫駆除などに汗を流し、約40㎡の田んぼからたくさんのお米を収穫するのが目標です。

◎6年生は、キャリア学習の一環として、地域や保護者の方にご協力いただき、働くことについて話を聞いたり、実際に職場を見学したりする活動を通して、「自分の将来」について考え方を広げていきます。

地域に誇れる落二を目指して

開校100周年記念
マスコットキャラクター



目指す学校像

- 1 子どもたちの成長のために、全教職員が学び続け、一人一人がよさを発揮しつつ、組織として一致団結する学校【チーム落二】
- 2 笑顔と積極的なコミュニケーションにあふれ一人一人のよさを認め合える学校【笑顔と信頼】
- 3 開校100周年の歴史と伝統を生かし、教職員・子どもたち・保護者・地域が共に歩む誇れる学校【誇れる落二】

一人一人がよさを発揮し、学びを楽しむ学校

One for all,
All for one

知的な学び

- ・主体的・対話的で深い学びの実現
- ・問題解決型の授業や体験的な活動の充実
- ・学びに応じたタブレット端末の効果的な活用
- ・ユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業
- ・SDG sを意識した教育の推進
- ・基礎学力の定着（算数教室、放課後学習の実施）



協働的な人間関係

- ・長寿会と連携した「花いっぱい運動」「昔遊び」
- ・地域の方から学ぶ体験学習「染め物体験」「作物栽培」
- ・子どもたち主体で取り組む「あいさつ運動」
- ・地域協働学校と連携した「落合の里づくり」「稲作体験」
- ・障害者理解教育「車いす体験」「手話の学習」
- ・異年齢集団による活動「縦割り班活動」
- ・働く人から学ぶ「キャリア教育」の推進



心と体の健康

- ・自己健康管理と保健指導の充実
- ・体力の向上（新宿ギネス・パワーアップタイム等の取組）
- ・オリパラ推進教育（ボッチャやラグビー等の体験活動）
- ・特別の教科「道徳」の授業の充実
- ・自然・人・物・心を大切にしようとする子どもの育成
- ・自己発揮能力を高める「クラブ活動」「委員会活動」





▲学校ホームページ



所在地／新宿区西落合1-12-20

電話／03-3565-0941

FAX／03-3565-0976

交通／都営大江戸線 落合南長崎駅下車 徒歩5分

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	総計
学級数	2	2	2	2	2	2	12
児童数(計)	41	56	52	50	56	58	313
児童数(男)	24	32	21	25	27	21	150
児童数(女)	17	24	31	25	29	37	163

■教育目標と指導の重点

学校教育目標

◎みんなと仲よくする子ども

温かな気持ちで人と関わり、友達のよさを認め協力する子

◎身も心もすこやかな子ども

自らを高めようという志、感謝・感動する心をもった子

◎よく考える子ども

自分の力で柔軟に問題を解決し、思いや考えを発信する子

◎一生けんめいやりとげる子ども

意欲をもってチャレンジし、結果に責任をもとうとする子

指導の重点

①「徳」「知」「体」をバランスよく育て、新宿の未来を担う子どもを育てます。

★相手を思いやり、友達と協力しながら最後までやりとげるよう励まします。

②教育の不易の部分である、礼儀やマナー、相手や集団を大切にできるようにします。

★時と場に応じた話し方や行動、感謝の気持ちなどを意識できるようにします。

③一人1台端末を活用し、主体的・対話的で深い学びを実現します。

★子どもたちが、自分の思いや考えをもち、伝え合うことで学び力を高めます。

④「地域総がかりの教育」保護者との協働、地域及び関係機関等との連携を通して多くの人が関わって子どもを育てます。

★大人も互いに関わり学び合い、協働する中で新たな発見をしていくことを目指します。

■児童会の活動

子どもが自分たちの学校生活を向上させようと、主体的に問題を解決することができるよう支援し、自主性と社会性を養い、個性の伸長を図ります。

○委員会活動

・5、6年生全員で、毎月第一週の火曜日に活動しています。
1年生を迎える会、各種集会、6年生を送る会、日々の当番活動とその振り返りを行い、よりよい学校を目指しています。

○学びの交流

・異学年間で、様々な学びによる交流をしています。

■総合的な学習の時間の取り組み

○地域教材の開発を行い、地域に学び、地域を愛し、地域に貢献する子どもを育てます。

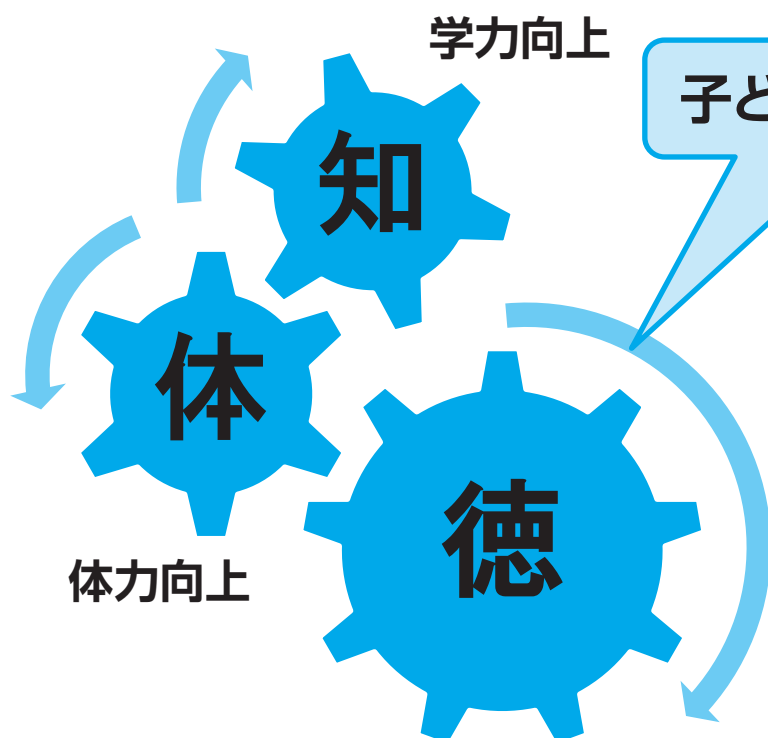
○「探究」と「協働」をキーワードに、「課題設定力」「課題解決力」「コミュニケーションの力」「表現力」を育み、学習したことを生活に生かすことができるようにします。

○課題について考えるとき、「比べて考える」「分類して考える」「関連付けて考える」「置き換えて考える」ようにできる子どもを育てます。

『愛情と信頼 笑顔あふれる やっちゃん OCHISAN』

地域とともに歩んできた落合第三小学校の歴史と伝統を継承し、地域を愛し、未来を担う子どもの育成に努めていきます。

◎みんなと仲よくする子ども

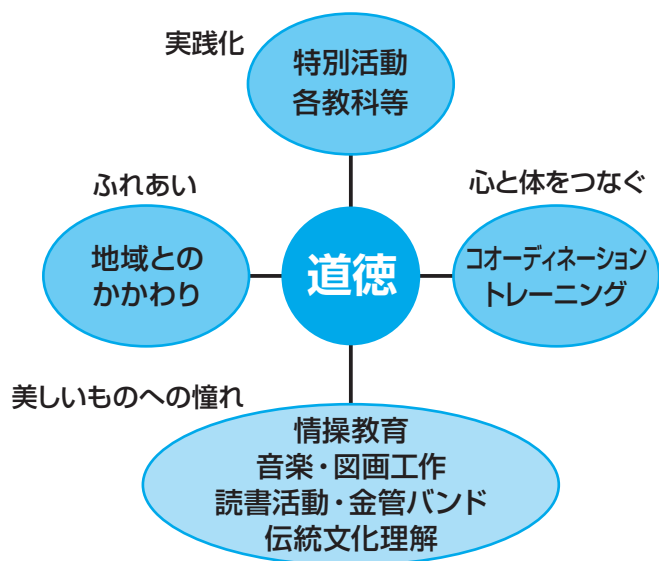


子どもの内面を育てる

- ・相手の立場で考える
- ・誰とでもうまくやっていく
- ・新しいことに挑戦する
- ・失敗してもくじけない

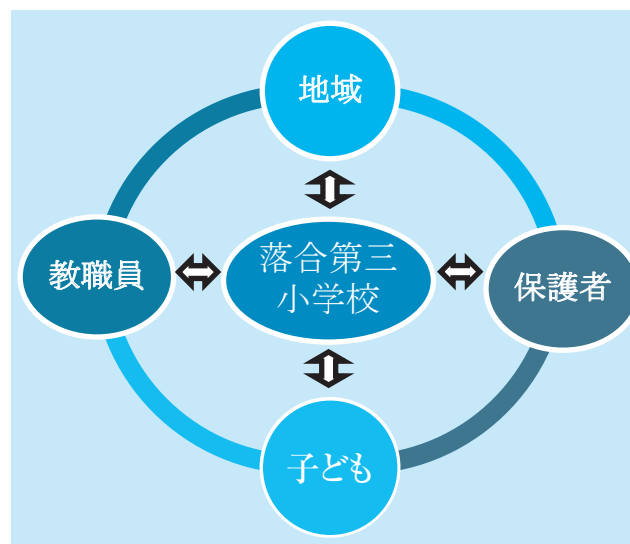


こころとからだの教育の関連



地域総がかりの教育

地域に学び、地域に愛着をもち、地域に貢献しようとする子どもを育てる



ともに育ち合う



▲学校ホームページ



所在地／新宿区下落合2-9-34

電話／03-3565-0942

FAX／03-3565-0979

交通／JR山手線・西武新宿線・東京メトロ東西線 高田馬場駅8分

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	総計
学級数	2	3	2	2	3	2	14
児童数(計)	62	88	70	66	83	57	426
児童数(男)	31	51	34	34	50	29	229
児童数(女)	31	37	36	32	33	28	197

■教育目標

人間尊重の精神を基盤として、広く世界の平和と人類の幸福に貢献し得る、心身ともに健やかで、情操豊かな実践力のある人間を育成する。

学ぶ喜びを感じる子

他者と協働して学ぶ子

自他を尊重し、共に目標を果たす子

■指導の重点

- ・ICTをツールとしたGIGAスクール構想に基づいた「個別最適な学び」と「協働的な学び」の充実を図る。
- ・学力向上のための重点プランに基づき、基礎基本の定着、主体的な学習活動の充実、指導方法、支援の工夫・改善、チームティーチング・少人数指導など指導体制の工夫、指導と評価の一体化を重点に主体的・対話的で深い学びを実現する。

■児童会の活動

- ◎たてわり班活動 全校の遊び(年間8回、班ごとに遊ぶ)
- 赤十字募金
- ◎開校記念児童集会、パフォーマンス集会、6年生とのお別れ会
- ◎クラブ活動 グランドスポーツ、バスケットボール、ラケット、ダンス、科学、アート、ボードゲーム、手芸

■総合的な学習の時間の取り組み

- ・落合の自然、文化・行事とそこに関わる人々をテーマに、スクールコーディネーターを通して、地域の人材を生かした取り組みを行う。
- ・総合的な学習の時間の充実を図るため、各教科・道徳・特別活動の内容との関連を明らかにし、「児童が教科横断的に、思考、判断、表現する力を身に付けられるように工夫をする。」
- ・評価規準に基づいた評価計画にしたがって、児童一人一人の課題の達成状況や学習の伸びを的確に把握する。
- ・各学年の活動内容
 - 3年 ・落合たんけん隊
 - ・落合まちづくり隊
 - 4年 ・共にくらし、共に楽しむ
 - ・チャレンジ!地域に伝わるもの
 - 5年 ・ゴミゼロチャレンジ
 - ・落合リサーチ探偵団
 - 6年 ・明日に向かって
 - ・みんなでつくるよりよい世界ーSDGsー

学びを生かしてよりよく成長する児童を育てる学校

教育目標

学ぶ喜びを感じる子
他者と協働して学ぶ子
自他を尊重し、共に目標を果たす子



主体的・対話的で深い学び

- ◆ 「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実させながら「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善
- ◆ 教科横断的な学びを生かした振り返り活動と評価の充実
- ◆ G I G Aスクール構想の推進とICTの効果的な活用
- ◆ 教科担任制の推進
- ◆ 放課後学習支援「落四塾」



豊かな心の育成・多様性

- ◆ 特別支援教育の推進
(巡回指導員との連携・副籍交流)
- ◆ あいさつ運動
- ◆ 併設幼稚園との連携・交流
- ◆ 防災教育の推進
- ◆ 読書活動の推進
- ◆ 食育指導（食育の日）
- ◆ 「全校の遊び」全学年たてわり班活動・「レク祭」



地域でつながる落四小

- ◆ 「地域協働学校」としての、様々な学校支援活動の充実
- ◆ 緑豊かな校庭や地域での学習
- ◆ 「おとめ山公園」の自然等を生かした環境学習
- ◆ 伝統文化を生かした学習
- ◆ 隣接中学校・近隣小学校との連携





▲学校ホームページ



所在地／新宿区上落合3-1-6

電話／03-3227-2103

FAX／03-3227-1945

交通／西武新宿線 中井駅下車 徒歩3分

都営大江戸線 中井駅（A2出口）下車 徒歩4分

東京メトロ東西線 落合駅下車 徒歩7分

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	総計
学級数	1	2	2	1	2	2	10
児童数（計）	34	36	52	34	45	43	244
児童数（男）	20	18	23	12	20	24	117
児童数（女）	14	18	29	22	25	19	127

■教育目標と指導の重点

人間尊重の精神を基本に、人格の完成を目指し、平和な国家社会の形成者として広く国際社会で信頼と尊敬を得られる、心身ともに健康で人間性豊かな日本人を育成するために、次の目標を定める。

☆進んで考える子

☆明るく思いやりのある子

☆強くたくましい子

- ・各教科 基礎的・基本的な内容を重視し、基礎学力の定着を図る。
体験的な学習を取り入れ、主体的な学習態度や表現力・思考力を培う。
- ・道徳 指導の工夫を通して、内面に根ざした道徳性を身に付けさせる。
- ・外国語活動 第5・6学年が年間70時間、第3・4学年が35時間の外国語活動を行うことで、コミュニケーション能力の素地を養う。
ALTと細やかに連携し、より実践的な活動を行うことで指導の充実を図る。
- ・特別活動 集団の一員としての自覚を深め、よりよい生活を築こうとする意欲と態度を育てる。

■児童会の活動

- ・5年生以上で構成する委員会で、各種行事や活動（ゲーム集会・かがやき集会・音楽朝会 他）を計画・実施し、変化に富んだ、楽しい学校生活を目指している。

・異学年縦割り集団による「かがやき集会」で、遊びを中心とした活動をしたり、一緒に給食を食べたりしている。全校遠足でも異学年交流が実施され、学年相互の思いやりの心が育っている。更に、年間を通して学校全体で取り組んでいるあいさつ運動でも、かがやき班（縦割り班活動）の上学年が下学年のよい手本となり、あいさつの響き合う落五小を目指している。

■総合的な学習の時間の取り組み

本校では、地域の人材を活用して、地域の自然や歴史・文化、特に伝統工芸などを生かす体験活動や触れ合いを重視し、地域に学び共に生きていこうとする態度の育成を図っている。

3年：大豆の大変身

中井・落合たんけんたい

染め物にチャレンジ

4年：地域安全マップをつくろう

福祉って何だろう

5年：妙正寺川ウォッチング

6年生からの伝統を受け継ごう

6年：レッツスタディ日光

よりよい町に

伝統を引き継いで

※他にもいろいろな体験活動を中心とし、課題解決力を身に付け、高める学習を展開している。

落五小の特色ある教育活動

確かな学力の向上

3年生以上は週2回の朝モジュール(授業にカウントする朝学習)の時間に国語を行い、1・2年生は週3回の朝学習の時間に国語や算数、読書を行い、基礎基本の徹底を図っていきます。チームティーチングによる指導を充実させ、個に応じたきめ細かい指導を行っています。



地域を生かした体験学習

地域のまちや公園、妙正寺川などを探検したり、地域に伝わる伝統文化(染め物など)を体験したり、地域の人から昔遊びや昔の町の様子などを学んだりしています。



保健・食育指導の充実

年間の指導計画を作成し、養護教諭や栄養士が担任と協力しながら保健指導や食育指導に取り組んでいます。

子ども園等との交流

隣接のおちごなかい子ども園と連携しています。児童と園児の楽しい交流活動を行っています。

読書活動の充実

学年ごとに読書目標や課題図書を設定し、図書館スタッフや図書館支援員を積極的に活用しています。また、朝読書や図書の時間を充実させ、年2回の読書旬間や教師や子供同士による読み聞かせなども行っています。



異学年活動…縦割り班活動

全校で縦割り班を編成し、月1回の「かがやき集会」、全校遠足、体力テスト等、年間を通して継続的に活動しています。



体力・運動能力の向上

毎学期、落五スポーツ週間を設け、全校で縄跳びや持久走等に取り組んでいます。さらに体力テストの調査結果を活用し、1年を通して、運動に親しみながら体力向上を目指します。

特別支援教育の充実

まなびの教室での巡回指導や、特別支援教室専門員、特別支援教育推進員による支援体制など、教員と連携を取りながら特別支援教育の充実を図っています。



▲学校ホームページ



所在地／新宿区西落合 4 - 11 - 21

電 話／03 - 3565 - 0943

FAX／03 - 3565 - 0985

交 通／西武池袋線 東長崎駅 徒歩 8 分

都営大江戸線 落合南長崎駅 徒歩 13 分

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	総計
学級数	2	2	2	2	2	2	12
児童数(計)	43	49	38	53	39	48	270
児童数(男)	23	29	17	23	21	31	144
児童数(女)	20	20	21	30	18	17	126

■教育目標と指導の重点

人間尊重の精神に基づき、国際社会に貢献できる心豊かな日本人の育成を目指す。

- ・ 明るい子……………人格を尊重し合い、社会性豊かな子どもの育成
- ・ たくましい子……………心身ともに健康で、ねばり強く行動する子どもの育成
- ・ 考える子……………ものごとを深く考え、自主的に行動する子どもの育成

－明るい子の育成－（人権尊重・社会性）

- 人権の尊重 ○道德教育の充実
- いじめ防止への取組
- 国際性豊かな日本人の育成
- 「心をつかう」「心を配る」指導の徹底
- 近隣保育園・幼稚園・子ども園・中学校等との連携
- 教育相談活動の充実
- 礼儀正しく規律ある生活の励行

－たくましい子の育成－（心身の健康・粘り強さ）

- 体力向上の取組
- 体育科の授業の充実
- 食に関する指導の充実
- 落六小の植物や樹木の活用
- 保健指導の充実
- 早寝、早起き、朝ごはんの励行

－考える子の育成－（これからの社会につながる学力の育成）

- 個に応じた学習支援（国語・算数のコース別学習）
- タブレット端末の有効活用
- 深い学び、対話的な学び、主体的な学び
- 地域、社会問題、職業などこれからの社会を見据えた体験と学びの充実
- 伝統文化と心に触れる学習の展開

■児童会の活動

5・6年生が中心となり、学校行事を通して自主的、自発的な活動を行う。学校生活の充実と向上を図ると共に、異年齢集団の交流を深め連帯感を育成する。

- 集会、体育学習発表会等、児童による企画と運営
- 児童集会や縦割り班遊び等を行う。
- 体育学習発表会等のスローガンやシンボルマークを募集したり、地域の方々へ案内状を届けたりする。
- 1年生を迎える会、6年生を送る会を企画・立案し、実施する。

■総合的な学習の時間等の取組

体験的な活動や問題解決的な学習を中心に自ら課題に気付き、解決する力を伸ばす。

- 全学年を通して「おちろくDASH」縦割り型創造活動
- 各学年のテーマ学習として
 - 《3年》安全マップを作ろう
 - 《4年》染に学ぶ
 - 《5年》落六の伝統を受け継ごう 女神湖についてまとめよう
 - 《6年》専門家に学ぶプロフェッショナル 伊那についてまとめよう

■コミュニケーション能力を育てる

－外国語活動ほか様々な地域等との連携－

- 染め物、茶の湯、落語、日本舞踊、琴演奏、オーケストラ等日本の伝統文化に親しむ

子どもが主役の「落六小」

- 確かな学力を付ける学校
- 人間性豊かな優しさを育む学校
- 規律と自主性を育む学校
- 安心・安全な学校



ようこそ落合第六小学校へ

- ・本校は、新宿の北西の閑静な住宅街と豊かな緑の台地に位置し、落ち着いた教育環境の中で『開校67周年』を迎えます。
- ・自立して、これからの社会をたくましく生きる人づくりを目指します。



確かな学力

○基礎・基本の定着を図る指導の徹底

- ・個に応じた指導 算数・国語のコース別指導
- ・まなびの教室等、特別支援教育の推進 1人1台タブレット端末の活用

○学びの基礎となる力の確立

- ・学習規律の徹底
- ・関心・意欲を大切にした指導
- ・「思考力・判断力・表現力」の育成

○主体的で対話的な深い学び

- ・グラフィック・レコーディングの活用
- ・自律して学び続ける人材の育成

○本物の体験と結びついた学び

- ・体験型学習の充実、おちろくDASHの取組
- ・ICT機器を活用した学習の「見える化」「効率化」

○運動能力の向上

- ・体育授業の充実
- ・体育集会
- ・外部講師の活用

○自分の健康を考え、体を鍛える

- ・健康的な生活習慣
- ・運動の日常化
- ・体力テストの結果活用

○食育の推進

- ・食べ物に対する正しい認識と感謝
- ・望ましい食習慣
- ・シェフなどプロフェッショナルに学ぶ学習

○安全に対する意識と指導

- ・自他の命を大切にする
- ・交通安全
- ・防災教育
- ・生活安全



健全な身体

社会性と人間性



○コミュニケーション能力の向上

- ・挨拶の徹底
- ・縦割り活動
- ・おちろく班遠足の企画
- ・みんなで学ぶ学習
- ・さまざまな人と触れ合う機会

○特別活動の充実（自治意識の向上）

- ・子どもが主役の学校行事
- ・クラブ活動
- ・委員会活動
- ・おちろく班

○豊かな心の育成

- ・特別支援教育の充実（特別支援教育推進員やスクールカウンセラー等、多彩な職員で連携）

- ・「特別の教科 道徳」の時間の充実
- ・豊かな体験や人とのかかわり

○「基本的な生活ルール」「社会のルール」の徹底

- ・規範意識の向上
- ・いじめを許さない、見逃さない

○人にやさしく接する心の醸成

- ・相手を思いやる想像力
- ・さまざまな価値観との共存理解

子どもにとって **通ってよかった落六小**

保護者にとって **通わせてよかった落六小**

地域にとって **地域が誇れる落六小**

おちろくちゃん
(本校のシンボルキャラクターです。)





▲学校ホームページ



所在地／新宿区北新宿3-17-1

電話／03-3227-2105

FAX／03-3227-1946

交通／JR総武線 大久保駅・東中野駅 徒歩8分

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	総計
学級数	2	2	2	2	3	2	13
児童数(計)	62	47	57	62	76	40	344
児童数(男)	31	27	26	30	39	24	177
児童数(女)	31	20	31	32	37	16	167

■教育目標と指導の重点

人権尊重の精神をもとに、児童一人一人を生かし、心身ともに健やかで、自主的精神に満ち、広く国際社会に貢献できる児童の育成を目指し、以下の児童像を掲げ、学校運営を推進する。

○助けあう子ども

◎考える子ども

○やりぬく子ども

◎じょうぶな子ども

○チームティーチングや少人数学習指導の充実を通して、児童一人一人の個性や能力を生かした指導を進め、基礎的・基本的な内容の確実な定着を図る。

○学び方を学ぶ学習、問題解決的な学習や体験的な活動を充実させ、思考力、判断力、表現力を養い、主体的に学ぶ力を育成する。

○「道徳授業地区公開講座」を充実させ、家庭・地域と連携して心の教育を推進する。

○淀四キッズ（縦割り班活動）等の異学年交流や保幼子中（特に併設幼稚園）との連携を通じた思いやりや助け合いの心の育成を図る。

○夢に近づくための特別な体験として、オリンピックやパラリンピアンとの直接交流の機会を設けている。講演や実技指導を通じて、世界の舞台上で活躍した選手たちから、夢を持ち、あきらめない大切さを学んでいる。トップアスリートとの交流が子どもたち一人ひとりの可能性を広げ、将来の夢を現実に近づけていく。

■児童会の活動

○集会

「1年生を迎える会」（1学期）、「感謝の会」（2学期）、

「6年生を送る会」（3学期）等、児童の創意工夫をいかした活動を行っている。

○淀四キッズ

全学年で縦割班のグループをつくり、縦割班遊びや縦割班による清掃活動をする。遊ぶ内容はリーダーの高学年が中心になり考えている。

○全校清掃活動

春と秋に学校内外の清掃を全校で行っている。

■総合的な学習の時間の取り組み

地域との交流や地域の人材、歴史、文化を生かした、体験的な学習やプログラミング学習を積極的に取り入れている。

3年生

「プログラミングにチャレンジ」

「だいすき よどばし わたしたちの町」

「他国の文化を調べよう」

4年生

「内藤とうがらし復活プロジェクト」

「だれもが関わり合えるように」

「プログラミングにチャレンジ」

「外国の文化にふれよう」

5年生

「プログラミングの考え方を学ぼう」

「国際交流（オリパラ）」

「環境について考えよう」

6年生

「プログラミングを活用しよう」

「国際交流（オリパラ）」

「新宿の町 河口湖の町」

「大震災から学ぶ」

「よりよい未来に向けて」

子どもの幸せ開く 未来を開く 地域の太陽 『淀四小』

目指す学校

「わかった」「できた」学ぶ喜び・
知る楽しさがあふれる学校

特色ある教育活動

☆「楽しく、力のつく」学習環境・学習指導の推進☆



- ユニバーサルデザインの視点を取り入れ、全ての子どもが落ち着いて学習に向かうことのできる教室環境をつくっています。
- 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を図ったり、プログラミング的思考を取り入れた学習を行ったりしています。
- 基礎体力の向上を目指して、様々な取組を併設幼稚園とともに日常的に実践しています。淀四ギネス（スポーツギネス新宿）や縄跳び、マラソン等を月間で行ったり、常時活動として休み時間には体力アップの活動に取り組んだりしています。毎年、講師の先生をお呼びしてコーディネーショントレーニングにも取り組んでいます。運動を楽しむことを第一にして、基礎体力づくりの習慣化を図っています。

☆「確かな学力」の定着☆

- 「ベーシックタイム」や「チャレンジタイム」、放課後学習（淀四スタディ）を行い、基礎的・基本的な学習内容の定着を図っています。
- 朝の読書タイムに、全教員・図書ボランティアによる「読み聞かせ」の活動を行っています。
- 全学級において算数のチームティーチングや少人数指導を行ったり、一人1台タブレット端末のデジタルドリルを活用したりして、一人一人に適した指導を充実させています。



- 幼稚園との連携教育として、併設幼稚園との合同遠足や生活科交流、運動会や学芸会を行っています。諸活動を通して思いやりの心を育てます。
- 金管バンド、和太鼓クラブ、邦楽教室等の音楽・表現活動を通して豊かな心を育てます。また、スクールコーディネーターと連携し、地域の方々に講師に招いて教わる等、充実した活動を行っています。

☆特別支援教育の充実☆

- 特別支援コーディネーターや、都・区スクールカウンセラーが子ども一人一人に寄り添った相談ができるよう心がけています。
- 「まなびの教室」（特別支援教室）等と連携し、全教職員が組織的に一人一人の子どもを見守ります。

☆地域との連携☆

- 地域協働学校として、地域に根ざした教育活動を行っています。始業前の朝遊びや漢字検定・算数検定・英検Jr、花壇や池、ビオトープの整備等を通して子どもたちの豊かな学び、体力の向上をサポートします。





▲学校ホームページ



所在地／新宿区北新宿2-11-1

電話／03-3227-2104

FAX／03-3227-2312

交通／JR総武線 大久保駅 徒歩10分

東京メトロ丸ノ内線・都営大江戸線 中野坂上駅 徒歩10分

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	柏葉学級	総計
学級数	2	2	2	2	2	2	3	15
児童数(計)	45	59	50	52	50	44	24	324
児童数(男)	22	31	28	33	21	30	14	179
児童数(女)	23	28	22	19	29	14	10	145

■教育目標と指導の重点

教育目標 人間尊重の精神に基づいて自他の生命を尊び、心身ともに健康で、知性と感性に富み、生涯にわたって学び続け、郷土を愛する心と国際感覚をそなえた児童の育成を目指し、次の目標を設定する。

○よく考える子……自ら思考判断し、適切に表現する児童の育成

○思いやりのある子…自分を大切にすると共に相手も大切にすることのできる児童の育成

○体をきたえる子……運動の楽しさを実感し、すすんで体力向上に努める児童の育成

■本年度の重点目標

- 様々な共同・協同・協働による心豊かな児童の育成
 - ・特別支援学級と通常学級の交流
 - ・異学年・子ども園・特別支援学校などとの交流
 - ・規範意識の向上
- 日常的な授業改善による確かな学力の定着・向上
 - ・思考力・判断力・表現力の育成
 - ・学習規律の徹底
- 組織的・計画的な学校運営による教育活動の充実
 - ・全教職員で全児童を指導する、「チーム柏木」
 - ・3年生以上における、「教科担任制」「コース別学習」による指導体制の充実

■児童会の活動

■委員会活動

代表委員会をはじめ、全8委員会で学校をよりよくしていく活動を自主的に行っています。

■たてわり班活動

たてわり班活動は、児童相互のかかわりや異学年の人間関係作りを目的とした、全学年混合の異年齢・小集団での活動です。たてわり班活動を通して、普段あまりかかわりのない児童同士が、よりよい人間関係を築こうとする自主的・社会的な態度を育てます。

6年生が中心となって計画を立てます。具体的な活動としては「顔合わせ自己紹介」「たてわり班遊び」「読み聞かせ」「長なわ練習」などを、毎月1回行う予定です。

■総合的な学習の時間の取り組み

各教科等で身に付けた知識や技能を学年の発達段階に応じて生かし、学習できるようにします。そして、児童が自分で課題を見付け、課題解決に向けて自分なりの方法で探求し、自信をもって発表できるようにしています。

また、これからの社会や地域や学校の現状を鑑み、取り組んでみたい課題や期待する社会に向けた願いを課題として、見通しをもってカリキュラムを柔軟に編成します。特に2学期から、3年生以上で取り組みたい課題の解決に向けて縦割りで臨む「柏木ライブ」(起業型探求プロジェクト)の時間を創設し、社会とつながり、将来の展望を開くカリキュラムをつくり、地域や保護者の協力のもと展開する計画を立てています。

柏木小が大切にしていること

■ 様々な活動を通して、 豊かな心を育てる教育活動

様々な人との交流や自然とのかかわりを通して、心豊かな児童を育成します。

○たてわり班での異学年交流、子ども園・保育園との交流

○人生の冒険家から学ぶ「まなびのマルシェ」

○地元町会と協働して行う地域清掃活動



■ 全職員で連携を取り合って進める、 健康づくりと安全指導

全ての教員・スクールカウンセラー・支援員など、多彩な職員が連携して指導にあたります。

○校内委員会と連携した教育相談の充実

○オリンピック・パラリンピック教育をレガシーとして引き継ぐ、「健やかな心と身体の育成」

○いじめなど今日的課題に対する「かし輪ネット委員会」

■ いきいきとした授業を創造し、 確かな学力を育む指導

日々の授業を大切に、児童の自主的な学びを促すための工夫・改善を続けていきます。

○「教え」から「学び」への授業改革

○3年生以上での教科担任制による指導の推進

○GIGAスクール構想実現に向けた教育用タブレット端末を活用した授業の充実



■ 一人一人の教育ニーズに応じた 特別支援教育の推進

児童の実態や発達段階、特性などに応じて適切な指導・支援を行い、児童のよさや可能性を伸ばします。

○特別支援学級（柏葉学級）における特別支援教育の推進

○通常学級における特別支援教育の推進

○特別支援学級と通常学級の交流



▲学校ホームページ



所在地／新宿区西新宿4-35-5

電 話／03-3373-6031

F A X／03-3299-7780

交 通／都営大江戸線 都庁前駅 西新宿5丁目駅

京王新線 初台駅 徒歩8分

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	総計
学級数	2	2	2	2	2	2	12
児童数(計)	67	52	59	57	63	47	345
児童数(男)	40	31	25	30	31	26	183
児童数(女)	27	21	34	27	32	21	162

■教育目標と指導の重点

人間尊重の精神を根幹とし、国際社会において信頼され主体的で人間性豊かな児童を育成するため、次の目標を定める。

- 進んで考える子
- 思いやりのある子
- 心と体をきたえる子

〈本年度の基本的な方針〉

- ・4・5・6年生を対象に興味・関心に応じた学習の機会を設定し（「プロジェクト学習」）、地域の企業・専門学校等と連携した指導を行うことで、児童主体の豊かな学びの実現を目指す。
- ・ICTを効果的に活用した分かる授業を展開するために、指導力の向上に向けた研修に努める。
- ・多様性尊重・よりよい人間関係の構築の実践により、あらゆる偏見や差別の解消を目指す。
- ・芸術的活動や読書活動、ボランティア活動等を通じて、豊かな情操を身に付けた児童の育成を図る。
- ・自ら課題を見付け、探究する児童を育成する。
- ・児童の個性や興味・関心を生かし、個別最適な学びが進むように授業の工夫改善を図るとともに、

少人数指導、学習指導支援員の活用を図る。

- ・日常のあいさつの励行により、豊かな人間性とモラルを備えた社会人として成長できるよう、生活指導を充実させる。

■児童会の活動

- 1年から6年までを12の班に編成し、学期に1回、遊びや集会での交流を行う。
- 新宿中央公園の清掃活動等のボランティア活動を行う。
- ユニセフ等の募金活動を行う。

■総合的な学習の時間の取り組み

- 体験的な活動や地域の人材を生かした活動を重視し、地域教材の開発、学習活動の工夫や支援の在り方などの改善を通して生きる力をはぐくむとともに、その活動の成果を教育活動全般及び地域貢献につなげていく。
- 4～6年生は自分の関心のあるテーマを個人で探究する「テーマ学習」を行う。

<目指す学校>

「世界と出会うワンダーランド」

～地域とともに児童の主体的な学びをサポートする学校～

(令和7年度 地域協働学校のテーマ)

『地域 みんなで育てる教育』

地域協働学校運営協議会を生かした活動の推進と積極的な情報発信

全ての活動で児童が主体的に取り組む教育の創造

『学びの起点は児童一人一人にある』 ～児童主体の学習～

- ・ チーム担任制の導入
- ・ CDT（観点別学力到達度診）の実施
- ・ 出前授業や出張授業等の積極的な導入
- ・ 全校で一斉に取り組む「〇〇の日」〈環境（6月）国際理解（12月）ボランティア（2月）〉
- ・ ICT（タブレット、大型ディスプレイ）の効果的な活用
- ・ 1年ごとの学級編制替えなどによる児童の幅広い人間関係の構築
- ・ 一人一人の特性に応じた学び方による指導支援（特別支援教育の推進）



『正解のない授業づくり』

～児童・教職員がつくる学校～

- ・ 「テーマ学習」の実施
- ・ 体験活動の充実
- ・ スポーツフェスティバルにおける個人種目の選択制
- ・ 始業前の「朝遊び」の実施



『地域の教育資源を最大限に活用する』

～多様性のなかで学ぶ
ラーニングセンター～

- ・ 実行委員会による学校行事（西新宿スポーツフェスティバル等）
- ・ 地域の企業などと連携した体験学習（プロジェクト西新宿）の実施
- ・ 年2回の個人面談
- ・ 保護者・地域対象の学習講座開設



▲学校ホームページ



所在地／新宿区百人町4-2-1

電話／03-3227-2107

FAX／03-3227-2310

交通／JR山手線・西武新宿線・東京メトロ東西線 高田馬場駅

JR山手線 新大久保駅

JR総武線 大久保駅

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	総計
学級数	2	2	3	2	3	3	15
児童数(計)	61	70	76	67	74	82	430
児童数(男)	24	38	34	36	44	42	218
児童数(女)	37	32	42	31	30	40	212

■教育目標

人間尊重の精神に基づき、国際社会を視野に入れ、高い志をもち感性豊かで主体的に行動できる人間の育成をめざし、次の4本の柱を設定し推進する。

○明るい子(徳)〔人間性、社会性、多様性〕

- ・「豊かな感性」、「規範意識・礼儀」、「郷土愛」、「福祉・協働の精神」、「望ましい勤労観・職業観」

○学べる子(知)〔学び方等の基礎・基本〕

- ・「基礎的・汎用的スキル」、「基礎的言語能力」、「読解力」、「コミュニケーション能力」

○考える子(知)〔論理性、創造性〕

- ・「情報活用能力」、「論理的思考力・多面的思考力」、「豊かな表現力」

○たくましい子(体)〔(心)行動力、忍耐力〕〔(体)健康な体〕

- ・「チャレンジ精神」、「自己肯定感」、「粘り強さ」、「基礎体力」、「防衛体力」

■児童会の活動

○なかよし班活動(ポプラ集会)

- ・1～6年で縦割り班を編成し、年間を通して異学年交流を行っている。

○全校児童集会活動

- ・月1回程度、児童集会を設け、楽しい一時を過ごしている。

○ロングの児童集会

- ・1年生を迎える会(4月)
- ・6年生を送る会(3月)

○委員会活動(5・6年全員参加)

- ・代表(4年生も含む)
- ユネスコ、園芸、放送、集会、図書、健康、運動、給食

○なかま・感動・本物を体験する学校行事

- ・入学式、卒業式・エンジョイ体育DAY、学芸会、音楽会
- ・6年：河口湖移動教室、5年：女神湖移動教室

■総合的な学習の時間の取り組み

〔目標〕探究的な見方・考え方を働かせ、地域の「人・もの・こと」を生かした横断的・総合的な学習の時間を行うことを通して、友達や地域の人とともによりよく課題を解決し、自己の生き方を見つめ、未来を考えていくための資質・能力を育成することを以下の通り目指す。

◎実社会・実生活で活用できる知識及び技能

探究的な学習の課題において、課題の解決に必要な知識・技能を身に付け、概念的知識にまで高め、実社会・実生活で活用できるものとして獲得できるようにする。

◎実社会・実生活で活用できる思考力、判断力、表現力等

実社会や実生活の中から問いを見だし、自ら課題を見つけ、自ら考えて判断し、よりよく問題を解決できるようにする。

◎学びに向かう力、思いやりのある人間性等

他者との関わりを通して、自分の考えを深め、広げることの尊さを理解し、よりよい未来を拓く一員として地域・社会に参画しようとする態度を養う。

〔各学年が取り組む探究課題〕

○町づくりや地域活性化のための取組例

【防災】地域防災訓練【町の伝統文化】百人町鉄砲隊

○地域の伝統文化

【食】百人町草花隊 内藤とうがらし

【伝統文化】手描き友禅

○身の回り的高齢者や障害者

【福祉】新宿区社会福祉協議会 盲導犬 聴導犬
ブラインドサッカー アイメイト

○外国の文化や価値観

【国際理解】身近な外国人との交流

【自国文化】一斉書写指導 俳句 茶道体験

【国際交流】フランスやシンガポールとの交流

教育活動の共通イメージ

うごかせ、こころとからだ

柱1 確かな学力の向上

(1) 言葉にこだわり、言葉を大切にする

- ・辞書引き活動の推進
- ・図書ボランティアによる読み聞かせ
- ・俳句作り（全学年）

(2) 論理的思考力を育てる

低学年からのプログラミング教育の推進



柱2 豊かな心の育成

(1) 異学年交流

ポプラ集会等での縦割り班活動

(2) あいさつ運動

(3) 百人町草花隊



西戸山小の特色ある教育活動

柱3 健やかな体の育成

(1) 体育的行事

- ・スポーツギネス新宿
- ・マラソン月間
- ・なわ跳び月間

(2) 食育指導

1月の学校給食週間



柱4 地域と共に学ぶ学校

地域やPTAと連携した取組

- ・一斉書写指導
- ・パネルシアター・朗読会
- ・茶道体験
- ・内藤とうがらしの栽培
- ・つながりフェスタ

特別支援教育の推進
児童理解・日本語指導

(1) 特別支援教育の推進

特別支援コーディネーター、
特別支援教室専門員、
まなびの教室巡回教員との
連携

(2) 児童理解

Hyper-QUを
低学年から実施

(3) 日本語指導

- ・日本語初期指導との連携
- ・日本語加配教員による個別指導

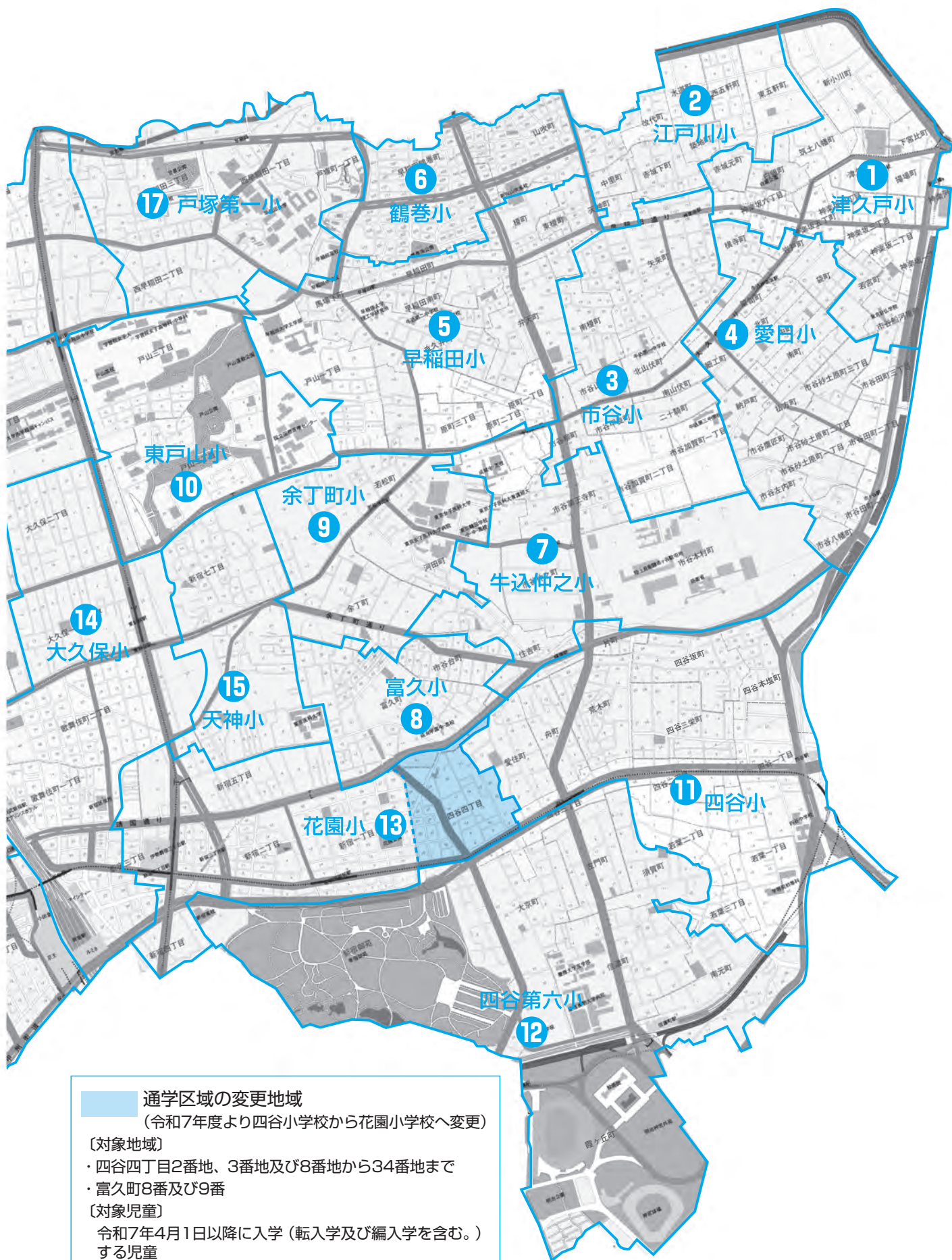
小学校通学区域図



凡 例

—— 小学校通学区域境界

- | | |
|-----------|-----------|
| ① 津久戸小学校 | ⑩ 東戸山小学校 |
| ② 江戸川小学校 | ⑪ 四谷小学校 |
| ③ 市谷小学校 | ⑫ 四谷第六小学校 |
| ④ 愛日小学校 | ⑬ 花園小学校 |
| ⑤ 早稲田小学校 | ⑭ 大久保小学校 |
| ⑥ 鶴巻小学校 | ⑮ 天神小学校 |
| ⑦ 牛込仲之小学校 | ⑯ 戸塚第一小学校 |
| ⑧ 富久小学校 | ⑰ 戸塚第二小学校 |
| ⑨ 余丁町小学校 | ⑱ 戸塚第三小学校 |
| | ⑲ 戸塚第三小学校 |
| | ⑳ 落合第一小学校 |
| | ㉑ 落合第二小学校 |
| | ㉒ 落合第三小学校 |
| | ㉓ 落合第四小学校 |
| | ㉔ 落合第五小学校 |
| | ㉕ 落合第六小学校 |
| | ㉖ 淀橋第四小学校 |
| | ㉗ 柏木小学校 |
| | ㉘ 西新宿小学校 |
| | ㉙ 西戸山小学校 |



通学区域の変更地域

(令和7年度より四谷小学校から花園小学校へ変更)

〔対象地域〕

- ・ 四谷四丁目2番地、3番地及び8番地から34番地まで
- ・ 富久町8番及び9番

〔対象児童〕

令和7年4月1日以降に入学（転入学及び編入学を含む。）する児童

※指定校変更申立てにより四谷小学校に入学可能

【小学校通学区域町名一覧】

学校名		通 学 区 域
①	津久戸小学校	神楽河岸、市谷船河原町、若宮町、神楽坂一丁目、神楽坂二丁目、神楽坂三丁目、神楽坂四丁目、神楽坂五丁目、神楽坂六丁目、津久戸町、筑土八幡町、白銀町、赤城元町、揚場町、下宮比町、新小川町
②	江戸川小学校	東五軒町、西五軒町、赤城下町、築地町、水道町、改代町、中里町、天神町（1番地から40番地まで）、山吹町（4番地から8番地まで、258番地から270番地まで及び293番地から318番地まで）
③	市谷小学校	南山伏町、北山伏町、市谷山伏町、市谷加賀町一丁目、市谷加賀町二丁目、二十騎町、市谷甲良町、市谷柳町、南榎町、矢来町
④	愛日小学校	袋町、岩戸町、筆筈町、南町、弘方町、横寺町、中町、北町、細工町、納戸町、市谷八幡町、市谷左内町、市谷鷹匠町、市谷長延寺町、市谷砂土原町一丁目、市谷砂土原町二丁目、市谷砂土原町三丁目、市谷田町一丁目、市谷田町二丁目、市谷田町三丁目
⑤	早稲田小学校	東榎町、榎町、弁天町、早稲田町、早稲田南町、西早稲田二丁目（1番（1号から23号まで））、喜久井町、馬場下町、天神町（41番地から85番地まで）、若松町（33番から38番まで）、原町一丁目（1番地から13番地まで及び18番地から76番地まで）、原町二丁目（13番地から29番地まで及び44番地から72番地まで）、原町三丁目（14番地から82番地まで及び90番地から92番地まで）、戸山一丁目（1番から19番まで及び22番から24番まで）
⑥	鶴巻小学校	早稲田鶴巻町、山吹町（10番地から16番地まで、21番地、25番地、81番地から131番地まで、277番地、291番地及び331番地から366番地まで）
⑦	牛込仲之小学校	若松町（5番（3号から7号まで）及び6番（12号から20号まで））、原町一丁目（14番地から17番地まで）、原町二丁目（1番地から12番地まで及び30番地から43番地まで）、原町三丁目（1番地から10番地まで及び84番地から89番地まで）、市谷本村町（4番から10番まで及び42番地）、市谷薬王寺町、市谷仲之町、住吉町（3番（1号から8号まで及び17号から24号まで）、4番から7番まで、8番（7号から28号まで）及び9番から15番まで）、河田町（1番、2番、3番（1号、2号及び16号から54号まで）及び8番（11号から33号まで））
⑧	富久小学校	市谷台町、住吉町（3番（9号から16号まで））、余丁町（4番（3号から7号まで）及び5番（1号から5号まで及び12号から14号まで））、富久町（1番から7番まで及び10番から41番まで）
⑨	余丁町小学校	河田町（3番（3号から15号まで）、4番から7番まで、8番（1号から10号まで及び34号）及び9番から11番まで）、余丁町（1番から3番まで、4番（1号、2号及び8号から23号まで）、5番（6号から11号まで）及び6番から14番まで）、若松町（1番から4番まで、5番（1号及び2号）、6番（1号から11号まで）及び7番から32番まで）
⑩	東戸山小学校	戸山一丁目（20番及び21番）、戸山二丁目、戸山三丁目（1番から17番まで、19番及び20番）、大久保二丁目（1番、2番及び3番（1号から8号まで及び14号から19号まで））、西早稲田二丁目（2番）
⑪	四谷小学校	若葉一丁目、若葉二丁目、若葉三丁目、四谷坂町、四谷本塩町、四谷三栄町、片町、荒木町、舟町、愛住町、四谷一丁目、四谷二丁目、四谷三丁目（2番地、3番地、6番地、7番地、10番地、11番地及び14番地）、市谷本村町（1番から3番まで）、住吉町（1番、2番及び8番（1号から6号まで））
⑫	四谷第六小学校	内藤町、大京町、信濃町、左門町、南元町、霞ヶ丘町、四谷三丁目（1番地、4番地、5番地、8番地、9番地、12番地及び13番地）、四谷四丁目（1番地及び4番地から7番地まで）、須賀町
⑬	花園小学校	新宿一丁目、新宿二丁目、新宿三丁目（1番から14番まで、15番（1号から4号まで及び14号から21号まで）、16番、17番（1号から5号まで及び19号から26号まで）、30番、31番（1号、16号及び17号）及び32番）、新宿四丁目、新宿五丁目（1番から12番まで、13番（2号から4号まで）、14番（1号から4号まで、12号及び13号）、15番から18番まで）、歌舞伎町一丁目（1番（2号から19号まで）） 四谷四丁目（2番地、3番地及び8番地から34番地まで）、 <u>富久町（8番及び9番）</u> ※下線住所は指定校変更申立てにより四谷小学校に入学可能

学校名		通 学 区 域
⑭	大久保小学校	新宿三丁目〔15番（5号から13号まで）、17番（6号から18号まで）、18番から29番まで、31番（2号から15号まで）及び33番から38番まで〕、新宿六丁目〔27番（16号から41号まで）、28番及び29番〕、新宿七丁目〔26番（11号から53号まで）及び27番〕、大久保一丁目（1番から15番まで）、大久保二丁目（4番から25番まで）、歌舞伎町一丁目〔1番（1号）及び2番から30番まで〕、歌舞伎町二丁目
⑮	天神小学校	新宿五丁目〔13番（1号及び5号から14号まで）及び14番（5号から11号まで）〕、新宿六丁目〔1番から26番まで、27番（1号から15号まで及び42号から58号まで）〕、新宿七丁目〔1番から25番まで及び26番（1号から10号まで及び54号から61号まで）〕
⑯	戸山小学校	戸山三丁目（18番）、大久保一丁目（16番及び17番）、大久保二丁目〔3番（9号から13号まで）及び26番から33番まで〕、大久保三丁目、百人町一丁目、百人町二丁目、西新宿七丁目〔2番（8号から12号まで）及び3番から6番まで〕
⑰	戸塚第一小学校	戸塚町一丁目、西早稲田一丁目、西早稲田二丁目〔1番（24号から28号まで）、3番から13番まで、14番（1号、2号及び21号から39号まで）及び15番〕、西早稲田三丁目〔1番から19番まで、23番及び31番（1号から8号まで）〕
⑱	戸塚第二小学校	高田馬場一丁目、高田馬場二丁目、西早稲田二丁目〔14番（3号から20号まで）及び16番から21番まで〕、西早稲田三丁目〔20番から22番まで、24番から30番まで及び31番（9号から16号まで）〕、戸山三丁目（21番）
⑲	戸塚第三小学校	高田馬場三丁目、高田馬場四丁目、下落合一丁目（12番及び13番）
⑳	落合第一小学校	中落合一丁目（1番から5番まで、7番から11番まで及び14番から16番まで）、中落合二丁目、中落合三丁目、中落合四丁目〔1番から7番まで及び8番（1号から14号まで）〕、中井二丁目〔1番から11番まで、13番（9号から23号まで）及び14番から16番まで〕、西落合一丁目（1番及び2番）
㉑	落合第二小学校	上落合一丁目、上落合二丁目、中落合一丁目（6番、12番、13番及び17番から21番まで）、下落合一丁目（17番）
㉒	落合第三小学校	西落合一丁目（3番から16番まで、18番から24番まで及び30番から33番まで）、西落合二丁目（5番から10番まで及び18番から25番まで）、西落合三丁目（1番、2番、8番及び9番）、中落合四丁目〔8番（15号から32号まで）及び9番から32番まで〕
㉓	落合第四小学校	下落合一丁目（1番から11番まで及び14番から16番まで）、下落合二丁目、下落合三丁目、下落合四丁目
㉔	落合第五小学校	中井一丁目、中井二丁目〔12番、13番（1号から8号まで及び24号）及び17番から30番まで〕、上落合三丁目
㉕	落合第六小学校	西落合一丁目（17番及び25番から29番まで）、西落合二丁目（1番から4番まで及び11番から17番まで）、西落合三丁目（3番から7番まで及び10番から30番まで）、西落合四丁目
㉖	淀橋第四小学校	北新宿一丁目〔4番から16番まで、17番（11号から21号まで）、18番、27番及び28番〕、北新宿三丁目、北新宿四丁目
㉗	柏木小学校	北新宿一丁目〔1番から3番まで、17番（1号から10号まで及び22号から26号まで）及び19番から26番まで及び29番から36番まで〕、北新宿二丁目、西新宿六丁目〔2番から4番まで、5番（1号及び2号）及び7番〕、西新宿七丁目〔1番、2番（1号から7号まで及び13号から15号まで）、7番から23番まで〕、西新宿八丁目
㉘	西新宿小学校	西新宿一丁目、西新宿二丁目、西新宿三丁目、西新宿四丁目、西新宿五丁目、西新宿六丁目〔1番、5番（3号及び4号）、6番及び8番から26番まで〕
㉙	西戸山小学校	百人町三丁目、百人町四丁目

令和 7 年度
新宿区立小学校 学校案内
—令和 8 年度入学用—

印刷物作成番号
2025-10-5507

令和 7 年 8 月 発行

編集・発行 新宿区教育委員会事務局 学校運営課

新宿区歌舞伎町 1 - 5 - 1

電話 03 (5273) 3089

この印刷物は再生紙を使用しています。

